

第 2 次石巻市総合計画

評価シート（令和 5 年度実績）

総合計画基本計画	1
第 1 章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち（6 節）	1
第 2 章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち（3 節）	13
第 3 章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち（5 節） .	21
第 4 章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち（6 節）	33
第 5 章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち（6 節）	51
第 6 章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち（2 節）	65
第 2 期 復興・創生期間に係る対応方針	73
第 1 章 第 2 期 復興・創生期間に係る対応方針（2 対応方針）	73
地方創生の取組	77
第 1 章 人口戦略の推進（4 対応方針）	77
第 2 章 未来都市の実現（1 対応方針）	93

章		
節		
数値目標 (KGI)		
目標値の考え方		
設定値 (%)	R3 (基準値) ⇒	R7 (最終目標値)
	⇒	

■節の達成状況

主な担当課				
関係課				
令和5年度の主な取組や成果				
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>【定量評価】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>総合計画基本計画</p> <p>各KPIの達成度から以下の4段階で評価しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ : 「aまたはb」のみでaが半数以上 ○ : 「aまたはb」のみでaが半数未満 △ : 「cまたはd」がありdが半数未満 × : dが半数以上 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>【第2期 復興・創生期間に係る対応方針】</p> <p>【地方創生の取組】</p> <p>各KGIの達成度から以下の4段階で評価しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ : a (どちらもa) ○ : b (どちらも「aまたはb」) △ : c (どちらかが「cまたはd」) × : d (どちらもd) </td> </tr> </table> </div>			<p>総合計画基本計画</p> <p>各KPIの達成度から以下の4段階で評価しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ : 「aまたはb」のみでaが半数以上 ○ : 「aまたはb」のみでaが半数未満 △ : 「cまたはd」がありdが半数未満 × : dが半数以上 	<p>【第2期 復興・創生期間に係る対応方針】</p> <p>【地方創生の取組】</p> <p>各KGIの達成度から以下の4段階で評価しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ : a (どちらもa) ○ : b (どちらも「aまたはb」) △ : c (どちらかが「cまたはd」) × : d (どちらもd)
<p>総合計画基本計画</p> <p>各KPIの達成度から以下の4段階で評価しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ : 「aまたはb」のみでaが半数以上 ○ : 「aまたはb」のみでaが半数未満 △ : 「cまたはd」がありdが半数未満 × : dが半数以上 	<p>【第2期 復興・創生期間に係る対応方針】</p> <p>【地方創生の取組】</p> <p>各KGIの達成度から以下の4段階で評価しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ : a (どちらもa) ○ : b (どちらも「aまたはb」) △ : c (どちらかが「cまたはd」) × : d (どちらもd) 			
令和5年度における主な課題	改善した点・方向性			
①				
②				
③	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【定性評価】 担当課において3段階で評価しています。</p> </div>			
内部評価	定性評価	定量評価		
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ : 課題を改善し効果を上げることができた ○ : 課題の改善に取り組んでいる × : 課題が改善されず効果が上がっていない 			

【内部評価】
定性評価と定量評価を掛け合わせた右の基準から設定しています。

- A : 順調
- B : 概ね順調
- C : やや遅れている
- D : 遅れている

		定性評価		
		◎	○	×
定量評価	◎	A	A	B
	○	A	B	C
	△	B	C	D
	×	C	D	D

細 節							担当部課
重要業績評価指標 (KPI)							
指標の考え方							
目標値の考え方							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 ()							
実績 ()				-	-		
達成率	-			-	-	R5達成度	
細 節							担当部課
重要業績評価指標 (KPI)							
指標の考え方							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 ()							
実績 ()				-	-		
達成率	-			-	-	R5達成度	
【達成率】 R5実績値及び目標値から達成率を算出しています。 ①増加や維持が目標：実績値／目標値 ②減少や抑制が目標：目標値／実績値 →②は実績値が低い程、達成率が上がります。 その場合、達成率の右側に「※」を表記しています。							
目標							
実績				-	-		
達成率 ※	-			-	-	R5達成度	
目標							
実績				-	-		
達成率	-			-	-	R5達成度	
細 節							担当部課
重要業績評価指標 (KPI)							
指標の考え方							
目標値の考え方							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 ()							
実績 ()				-	-		
達成率	-			-	-	R5達成度	
【再掲】 「地方創生の取組」においても 同じ指標を設定している場合には 該当ページを表記しています。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 ()							
実績 ()				-	-		
達成率	-			-	-	R5達成度	

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	1 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実			
数値目標 (KGI)	地域コミュニティ活動が活性化していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） コミュニティ（地域自治）活動の充実（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 18.2%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	48.8	⇒	54.7	⇒ 67.0

■節の達成状況

主な担当課	市民生活部地域協働課		
関係課	復興企画部地域振興課		
令和5年度の主な取組や成果			
<p>住民自治組織については、令和4年度までに6件設立されていたが、積極的に地域への意識醸成を図った結果、令和5年度に渡波地区において新規に設立された。また、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により住民自治組織交付金を活用した活動は4地区にとどまったが、令和5年度は設立済の全7地区で実施された。</p> <p>地域まちづくり委員会については、6総合支所において計13回開催され、「地域の要望や意見」「住民バスの現行と今後の利用促進」など計8件をテーマに、地域の均衡ある発展及び活性化につながる協議が行われた。</p> <p>友好都市等との交流事業については、国内及び国際姉妹都市・友好都市の祭りやイベントへ市民を相互に派遣したことにより、市民間による交流を深めることができた。本市から伝統芸能保存会が参加し、寺崎はねこ踊りや渡波獅子風流などの披露を通して、本市の魅力をより多くの方々を知っていただくことができた。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	住民自治組織の有効性や組織設立に向けたプロセスが地域住民に伝わらず、組織設立に向けた検討段階に至っていない地区もある。	未設立地区において住民自治組織の有効性の説明等による意識醸成に取り組むとともに、組織設立に向けたノウハウの提供など行政によるサポート体制を充実させた。	
②	地域まちづくり委員会は開催されたが、地域のまちづくり施策を提案するまでには至っていない。	地域まちづくり委員会の開催回数は前年より増え、課題検討数も増えた。今後は各地域まちづくり委員会が市長に提案できるよう各総合支所と連携しながら取り組む。	
③	コロナ禍前に実施していた国際姉妹都市であるイタリア・チビタベッキア市との交流事業（高校生の海外派遣研修）が再開できていない。	相手都市において、現在も受け入れ体制が整っていないことを確認したため、今後の交流のあり方について、相手方の意向も踏まえ、改めて協議していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 コミュニティ活動の活性化を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	住民自治組織交付金を活用して活動した団体数 (単年)	担当部課					
		市民生活部地域協働課					
指標の考え方	住民主体の地域づくりを推進するため、市内16地区すべての住民自治組織の設立を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 4件 (山下、河南、桃生、北上) 市内全16地区での実施を目指す。 (石巻、山下、山の手、住吉、釜・大街道、湊、渡波、稲井、荻浜、蛇田、河南、雄勝、河北、桃生、北上、牡鹿)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P90
目標 (件)	-	6	7	11	16		
実績 (件)	3	4	7	-	-	R5達成度	a
達成率	-	66.6%	100.0%	-	-		
細節		2 地域の均衡ある発展を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	地域で取り組むべき事項の検討件数 (単年)	担当部課					
		復興企画部地域振興課					
指標の考え方	地域まちづくり委員会において、地域における課題の把握及び解決に努めることで合併前の旧町地域の均衡ある発展及び活性化を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 7件 6総合支所 (河南、雄勝、河北、桃生、北上、牡鹿) ごとに各2件の地域課題等について検討を行う。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	-	12	12	12	12		
実績 (件)	7	6	8	-	-	R5達成度	c
達成率	-	50.0%	66.6%	-	-		
細節		3 友好都市等との交流を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	友好都市等との交流事業参加者数 (単年)	担当部課					
		復興企画部地域振興課					
指標の考え方	地域住民が参加する多様な交流事業を実施し、関係人口の拡大を推進することで、地域の活性化を図る。また、事業を通じて自分たちの住む地域に対する理解・興味を増進させ、地域の活動への参加促進を図る。						
目標値の考え方	○基準値：平成28年度～令和元年度の平均 216名 ※令和2・3年度は全事業中止 【国内姉妹都市・友好都市】各事業50名 茨城県ひたちなか市：隔年1回、山形県河北町：年2回、山口県萩市：年1回 【国際姉妹都市・友好都市】各事業20名 イタリア・チビタベッキア市：年1回、中国・温州市：年1回						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	250	250	250	250		
実績 (人)	0	215	250	-	-	R5達成度	a
達成率	-	86.0%	100.0%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	2 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進			
数値目標 (KGI)	移住・定住に対する施策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 住みやすさ（①+②） ①[とても住みやすい・どちらかという住みやすい] 60.9% ②[どちらでもない・どちらかという住みにくい・住みにくい]×1/2 18.7%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	60.9	⇒	46.8	⇒ 79.6

■節の達成状況

主な担当課	復興企画部SDGs移住定住推進課		
関係課	復興企画部地域振興課		
令和5年度の主な取組や成果			
<p>移住相談窓口の開設等により、積極的に本市の魅力を発信した。お試し移住体験事業では、中央第三復興住宅及び折浜復興住宅で合わせて38組59名を受入れ、新たに同事業を開始した網地島においても9組20名を受入れた。また、移住者の不安軽減につながるため、市外から転入後にペーパードライバー講習を受けた方に対する受講費用の一部を補助する制度を創設するなど、移住定住促進に係る施策を積極的に進めた結果、前年度と比較し移住者は13人増の165名となった。</p> <p>外国人に対する定住環境の整備については、外国人相談窓口を設置し、職員のほか、水曜日は中国人相談員、木曜日はベトナム人相談員を配置し対応しており、また、13言語での対応が可能である多言語映像通訳アプリを導入し、外国人住民の母国語による相談体制を充実させた。令和5年度の相談件数は116件であり、関係機関との連携を図りながら、外国人が抱える悩みや不安など、問題解決に向けた支援を行ったことにより、安心して暮らせる環境を整えることができ、出入国在留管理庁の「共生社会推進賞詞」を東北の自治体では初めて受賞した。さらに、本市で暮らす外国人と日本人の交流の場として、多文化共生推進事業「じゃばneeds塾」を開催し、各種講座の体験や交流を通して、国籍や言語を超えたコミュニケーションも生まれ、相互理解を深める一助となった。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 若い世代の人口減少が著しい。		定住促進住宅取得等補助制度の対象者を子育て世帯に絞り込むとともに基本補助額を見直したほか、若い世代の定住促進施策として奨学金の返還額の一部を助成する制度を令和6年度から創設する。	
② 本市で暮らす技能実習生や特定技能外国人が増加していることから、相談窓口の認知度を上げる取組が必要である。		外国人住民がよく訪れる商業施設等への周知ポスター掲示のほか、新たな施設への掲示協力を依頼し、周知の強化を図った。また、市外から転入してきた外国人に対しては、住民登録手続きの際に、周知チラシを配布した。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	◎	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 移住したくなるライフスタイルの形成を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	移住対策事業を活用した本市への移住人数 (単年)	担当部課					
		復興企画部SDGs移住定住推進課					
指標の考え方	移住対策事業 (移住相談、空き家バンク、石巻市定住促進住宅取得等補助金、お試し移住体験) を推進することで、移住人口の増加を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 76人 令和3年度から移住希望者に対する住宅取得等の補助金を創設したことから、補助金を活用した移住者130人、相談窓口を利用した移住者20人を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P82
目標 (人)	-	150	150	150	150		
実績 (人)	76	152	165	-	-	R5達成度	a
達成率	-	101.3%	110.0%	-	-		
細節		2 国際社会に対応する安心な定住環境を整備する					
重要業績評価指標 (KPI)	外国人住民数 (単年)	担当部課					
		復興企画部地域振興課					
指標の考え方	外国人が暮らしやすいまちづくりを推進するため、外国人の生活相談等の窓口を充実させ、外国人の移住人数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度末 外国人住民数1,205人 ※令和4年12月末現在 外国人住民数1,415人 令和4年度の途中から出入国制限が緩和されたことにより一時的に急激な増加となっているが、過去5年の平均として39名の増加となっていることから、年間40名の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	1,400	1,440	1,480	1,520		
実績 (人)	1,205	1,375	1,606	-	-	R5達成度	a
達成率	-	98.2%	111.5%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	3 安心して暮らすための地域防災力などの向上			
数値目標 (KGI)	地域の防災対策が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 地震や水害に対する防災体制づくり（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 46.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 22.4%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	46.8	⇒	64.7	⇒ 69.2

■節の達成状況

主な担当課	総務部危機対策課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>総合防災訓練については、市内全小中学校を登校日とし、地域と連携した訓練を実施することで、訓練参加者の増加に繋がった。また、総合支所においても、津波や土砂災害等を想定した地域の実情に応じた訓練を行うことができた。</p> <p>災害メール配信サービスの登録者人数については、市公式LINEによる効果的な情報発信とサービスを充実させたことで、登録者の大幅な増加に繋がった。</p> <p>消防団資機材整備（ポンプ置場、消防車両等）については、概ね計画的な更新・整備を行うことができ、消防団員の負担軽減と消火活動等における迅速な対応が可能となり、地域住民の安全安心が確保された。</p> <p>なお、平成26年以来となる地域防災計画の改訂を行うとともに、同計画に付随する津波避難計画、原子力災害時における広域避難計画の大幅な改訂、新たな津波浸水想定を踏まえた津波ハザードマップの全戸配布を行った。また、意見交換会、住民説明会、出前講座の実施、学校地域防災連絡会への参加など、直接住民に説明する機会を多く設けたことで、地域の実情に応じた防災に対する意識の向上が図られた。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	令和4年度の防災訓練参加率が前年比で2.3%減と地域住民の参加率の向上が課題となっているとともに、自主防災組織、学校等が連携した効果的な訓練の実施が必要となっている。	令和4年に宮城県が公表した津波浸水想定を踏まえた津波ハザードマップの全戸配布や全地域で津波や原子力防災に関する説明会等を実施するとともに、学校安全推進課との連携により、学校地域防災連絡会に積極的に参加し、津波防災に関する説明や訓練の内容について検討を進めることで、防災意識の高揚に努めた。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 地域防災力の向上を図る							
重要業績評価指標 (KPI)	防災訓練参加率 (単年)							担当部課	
								総務部危機対策課	
指標の考え方	災害時に迅速に対応するためには、市民一人ひとりの防災意識や災害への備えが重要であることから、防災訓練の参加率を上げることで、地域防災力の向上を図る。								
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 17.75% 直近の一番高い参加率が平成30年度の20%であることから、令和7年度には人口の20% (令和7年人口推計値からの算出で25,900人) の参加率を目標値とし、令和4年度から毎年度0.56% (令和4年9月末時点人口算出で767人) の増加を目指す。								
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P89	
目標 (%)		15.50	18.31	18.87	19.43	20.00			
実績 (%)		17.75	15.45	18.14	-	-	R5達成度	b	
達成率		114.5%	84.3%	96.1%	-	-			
細節		2 防災情報を発信する							
重要業績評価指標 (KPI)	災害メール配信サービスの登録者人数 (累積)							担当部課	
								総務部危機対策課	
指標の考え方	災害情報をいち早く発信するために有効な手段である災害情報メールの登録者人数を増やす。								
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 単年 2,002人、累積13,451人 令和3年度は新規625人の目標に対し実績は大きく越えたが、令和4年度の平均は月約30人程度で今後も同程度と考えられるため、毎年度360人の増加、令和7年度で累積14,891人を目標とする。								
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (人)	単年 累積	625 10,632	360 13,811	360 14,171	360 14,531	360 14,891			
実績 (人)	単年 累積	2,002 13,451	521 13,972	1,635 15,607	- -	- -	R5達成度	a	
達成率		320.3%	144.7%	454.1%	-	-			
細節		3 消防機能・交通安全を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	消防団資機材整備件数 (累積)							担当部課	
								総務部危機対策課	
指標の考え方	災害時に迅速に対応するため、消防団の資機材 (ポンプ置場、消防車両等) を計画的に更新・整備し、適切な維持管理を行う。								
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 単年18件、累積20件 消防組織体制の見直しと費用対効果を考慮し、毎年度令和3年度実績と同程度で整備を進める。								
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (件)	単年 累積	24 24	17 37	17 54	19 73	19 92			
実績 (件)	単年 累積	18 20	15 35	16 51	- -	- -	R5達成度	b	
達成率		75.0%	88.2%	94.1%	-	-			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	4 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進			
数値目標 (KGI)	男女共同参画社会が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 男女共同参画の社会づくり（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 45.1% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 18.8%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	45.1	⇒	48.4	⇒ 63.9

■節の達成状況

主な担当課	復興企画部地域振興課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>政策・方針決定の場への女性の参画を推進するため、庁内の審議会等の女性委員の登用について、各課へ呼びかけを実施するとともに、当課において女性委員の登用促進を目的に作成している人材リスト登録者の情報提供を行ったことにより、わずかではあるが前年度より実績を伸ばすことができた。</p> <p>社会のあらゆる分野における意識啓発については、女性人材育成セミナーや女性活躍推進セミナーを開催し、地域において女性活躍のロールモデルとなりうる人材の育成や女性が活躍できる就業環境の整備に向けた意識啓発を図ることができた。また、市内事業所の管理職層や市職員を対象にイクボス研修を実施し、男性の育児休業取得促進やワーク・ライフ・バランスの推進に向け、意識啓発を図ったほか、中学生を対象に助産師による講義や妊婦疑似体験を行い、子育てに温かい地域社会づくりの機運醸成につなげた。</p> <p>さらに、すべての市民が性別に関わりなく、生き生きと暮らすことができる社会の実現に向けて、性的マイノリティ研修を開催し、人権を尊重した性的マイノリティへの正しい知識と理解を深めた。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 各種審議会・委員会における女性委員の登用が伸びていない。	女性人材リストの活用について、積極的に各課に呼びかけを実施したが、更なる女性委員の登用を目指し、委員改選時におけるポジティブ・アクションの実施についても各課に呼びかけ、全庁的に取り組んでいく。		
② 各種研修における市内事業所の参加者が少ない。	研修やセミナー内容の充実を図るとともに、研修開催に係る情報発信の強化を図る。		
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 政策・方針決定の場への女性の参画を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	審議会・委員会等に占める女性委員の割合 (単年)						担当部課
							復興企画部地域振興課
指標の考え方	庁内の審議会・委員会等の女性委員割合を増やし、政策・方針決定の場への女性の参画を推進する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 25.8% 男女共同参加基本計画において、計画最終年度となる令和7年度目標値を40%としている。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
実績 (%)	28.0	27.8	28.1	-	-	R5達成度	c
達成率	70.0%	69.5%	70.2%	-	-		
細節		2 社会のあらゆる分野における意識啓発を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	「育児や家事の役割」について「夫婦同様」との回答割合 (単年)						担当部課
							復興企画部地域振興課
指標の考え方	セミナーや研修等を開催し、男女共同参画への理解を深めることで、社会のあらゆる分野における意識啓発を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 60.1% 男女共同参画基本計画において、計画最終年度となる令和7年度目標値を70%としている。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P87
目標 (%)	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0		
実績 (%)	49.9	66.1	72.4	-	-	R5達成度	a
達成率	71.2%	94.4%	103.4%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	5 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進			
数値目標 (KGI)	公共交通ネットワークが整備されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 公共交通ネットワークの整備（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 30.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 29.7%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	30.2	⇒	37.4	⇒ 59.9

■節の達成状況

主な担当課	復興企画部地域振興課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
公共交通利用促進事業として、公共交通に対する市民意識を改善するため、市職員が率先してモビリティマネジメント（※）を実践する「公共交通利用促進デー」や、今後の交通施策に若い視点を取り入れることを目的に、ワークショップ「公共交通をもっと使いやすくしよう！作戦会議」を石巻市子どもセンターらいつと合同開催し、市内の公共交通に対して学生が感じている不便さやニーズの把握を行った。また、住民バスに続き、ミヤコーバスの協力を得て市内の路線バスに関する情報のオープンデータ化を実施し、利用者の利便性向上を図った。 公共交通ネットワーク充足率については、路線バスや住民バスに対する補助金や牡鹿地区市民バスの運行を維持したことにより、100%を維持することができた。			
※モビリティマネジメント：「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 路線バスが同じ時間帯に集中している。		イオンモール石巻～石巻駅間及び石巻駅～渡波駅間を30～60分間隔にパターンダイヤ化することで、利便性が向上した。	
② 路線バスや住民バス等の運行情報が一部の経路検索コンテンツで反映されていない。		グーグルマップ、駅すばあと、Yahoo!路線情報で路線バスの経路検索が可能となった。	
③ 雄勝、北上からイオンモール石巻に行く場合に乗換が必要である。		令和6年4月から雄勝地区住民バスと北上地区住民バスをイオンモール石巻まで延伸する。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	◎	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 持続可能な公共交通体系を構築する					
重要業績評価指標 (KPI)	公共交通利用促進事業実施回数 (累積)						担当部課
							復興企画部地域振興課
指標の考え方	学生や市民を対象に、本市の公共交通に係るワークショップやヒアリング、意見交換会等を実施することにより、公共交通機関を身近なものに感じてもらうとともに、利用方法を学ぶことで公共交通の利用者増加を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 3回 総合交通計画に基づき、毎年度2回程度の実施を維持する。						
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲
目標 (人)	単年	2	2	2	2	2	
	累積	2	4	6	8	10	
実績 (人)	単年	3	3	3	-	-	
	累積	3	6	9	-	-	R5達成度
達成率		150.0%	150.0%	150.0%	-	-	a
細節		2 市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する					
重要業績評価指標 (KPI)	公共交通ネットワーク充足率 (単年)						担当部課
							復興企画部地域振興課
指標の考え方	日常生活等を支える交通手段を確保するため、路線バス、住民バス及び乗合タクシー、牡鹿地区市民バスの公共交通ネットワークを維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 100% 現状の路線バスや住民バス・市民バスの路線を基本 (100%) とし、今後も継続した維持確保を行う。						
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲
目標 (%)		100	100	100	100	100	
実績 (%)		100	100	100	-	-	
達成率		100.0%	100.0%	100.0%	-	-	R5達成度
							a

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	6 未来につなぐ震災伝承の推進			
数値目標 (KGI)	震災を後世に伝える取組が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和4年4月～11月（震災遺構門脇小学校 施設利用者アンケート） 施設の満足度（①+②） ①[大変良い] 79.3% ②[①以外]×1/2 9.2%			
設定値 (%)	R4 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7(最終目標値)
	79.3	⇒	70.7	⇒ 88.5

■節の達成状況

主な担当課	総務部震災伝承推進室		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>震災遺構来訪者数の増加に向け、館内無料ガイドや企画展を実施。また、3月11日には夜間特別開館やライトアップなど、関係機関等との連携事業を開催し、来訪者の増加に努め、震災遺構門脇小学校で前年比7,203人増の46,160人、震災遺構大川小学校で前年比6,075人増の83,638人、合計で13,278人増の129,798人となった。</p> <p>また、震災伝承関係団体との連携事業として、令和6年1月28日に「石巻防災・震災伝承のつどい」を開催したところ、約600名が参加し、市内で活動する防災・震災伝承関係団体の連携を深めるとともに、防災・震災伝承の活動について市民に伝えることができた。</p> <p>情報発信については、各種会議やフォーラムに参加し施設のPRを図ったほか、遺構施設や伝承活動を紹介するホームページ、各種SNS等を活用し、情報発信に努めた。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 市内小・中学生等の来訪者数増加に向けた取り組みが必要である。		<p>指定管理者と連携し、小・中学生を対象としたモニターツアーを実施したところ、小学校3校（市内2、仙台1）の来訪があった。</p> <p>また、出前講座に「石巻市震災遺構のはなし」として登録し、小学校2校から申し込みがあった。</p> <p>引き続き様々な取り組みを通し、リピーターなど来訪者の増加につなげていく。</p>	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節	1 震災伝承を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	震災遺構来訪者数 (単年)					担当部課		
						総務部震災伝承推進室		
指標の考え方	震災遺構来訪者数を増やし、東日本大震災の経験や教訓を多くの人々に伝え続ける。							
目標値の考え方	○大川小：令和3年7月開場 令和3年度 49,245人 門脇小：令和4年4月開場 年間の来訪者を門脇小58,000人(月4,800人)、大川小80,000人(月6,600人)を目標とし、企画展の開催や常設展示の更新等により維持を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P83	
目標 (人)	45,000	138,000	138,000	138,000	138,000			
実績 (人)	49,245	116,520	129,798	-	-	R5達成度	b	
達成率	109.4%	84.4%	94.0%	-	-			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち			
節	1 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実			
数値目標 (KGI)	環境保全対策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 森林や河川、海などの自然環境の保全・活用（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.7% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 20.3%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	48.7	⇒	48.7	⇒ 69.0

■節の達成状況

主な担当課	市民生活部環境課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
本市の自然環境や都市環境、大気環境や水環境等について取りまとめた「令和5年度版 石巻の環境」を作成・公表し、環境の変化や市の活動について広く市民に周知することができた。 また、磯観察&ビーチクリーンや自然観察会、木育講座等を通して自然環境について体験しながら学ぶ環境市民講座の開催や、昨年と同等の規模で環境フェアを開催し、多くの市民に環境イベントに参加いただくことで環境保全意識の高揚につなげることができた。 清掃奉仕活動においては、町内会等へ継続的に清掃活動を働きかけたほか、実施団体へ支援や助成を行うことにより、清掃活動実施団体が増加し、環境美化意識の向上を図った。 太陽光発電等補助金については、申請数が多く年度途中で申請受付を終了している状況であったが、令和5年度から補助金額を見直したことにより、より多くの補助申請に対応することが可能となり、太陽光発電の利用を促進することができた。 さらに、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す、「ゼロカーボンシティ」を令和6年2月15日に表明し、EVの普及促進による温室効果ガスの排出抑制を図るため、EV充電インフラを市の公共施設9箇所（18基）に設置した。			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 「ゼロカーボンシティ」を表明したが、現時点では具体的な取組について定まっていない。		「地球温暖化対策推進法」に基づく地方公共団体実行計画を含む「環境基本計画」の作成を令和6年度から開始し、市民や事業者の脱炭素に向けた具体的な取組を示し、地球温暖化対策への理解を深める。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 自然環境保全の普及・啓発を行う					
重要業績評価指標 (KPI)	「地球温暖化」に関心がある市民の割合 (単年)						担当部課
							市民生活部環境課
指標の考え方	環境イベント (環境フェア) や環境市民講座等により意識啓発を図り、「地球温暖化」への関心を持つ市民の割合を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 72.1% 国の温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにする目標に向けて、2030年 (令和12年) までに2013年 (平成25年) 比で46%削減する必要があることから、2030年 (令和12年) までに「地球温暖化」に関心がある市民の割合を90%まで引き上げるため、毎年度2%ずつの増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7 (最終)	再掲	
目標 (%)	-	74.0	76.0	78.0	80.0		
実績 (%)	72.1	76.7	76.1	-	-	R5達成度	a
達成率	-	103.6%	100.1%	-	-		
細節		2 生活環境を保全する					
重要業績評価指標 (KPI)	環境に配慮した生活を行っている と回答した市民の割合 (単年)						担当部課
							市民生活部環境課
指標の考え方	自治会等の清掃奉仕活動実施団体を増やすことにより環境意識向上を図り、環境に配慮した生活を行う市民の割合を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 69.9% 令和7年度に環境に配慮した生活を行う市民の割合を78.0%まで引き上げるため、毎年度2%ずつの増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7 (最終)	再掲	
目標 (%)	-	72.0	74.0	76.0	78.0		
実績 (%)	69.9	71.9	73.2	-	-	R5達成度	b
達成率	-	99.8%	98.9%	-	-		
細節		3 再生可能エネルギー等を有効活用する					
重要業績評価指標 (KPI)	再生可能エネルギーによる発電量 (単年)						担当部課
							市民生活部環境課
指標の考え方	再生可能エネルギーを有効活用するため、太陽光システム、蓄電池、HEMS (家庭用エネルギー管理システム) 設置に係る支援を行い、再生可能エネルギーによる発電量を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 18,773千kWh 令和7年度に 28,500千kWhを目指し、毎年度2,000千kWhずつ増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7 (最終)	再掲	
目標 (千kWh)	-	22,500	24,500	26,500	28,500		
実績 (千kWh)	20,520	21,367	22,202	-	-	R5達成度	b
達成率	-	94.9%	90.6%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち			
節	2 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進			
数値目標 (KGI)	ごみの減量化・リサイクルが推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） ごみ収集や処理、減量化などのごみ対策（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 71.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 11.5%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	71.0	⇒	61.3	⇒ 82.5

■節の達成状況

主な担当課	市民生活部廃棄物対策課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>ごみの減量化を推進するため、燃やせるごみとして排出される「生ごみ」の水切り啓発と併せ、生ごみ減量容器購入に対する補助事業を実施し、家庭での生ごみ排出量の削減につなげた。</p> <p>家庭系ごみのリサイクル率が目標値を下回っている状況が続いていることから、ごみの再資源化を推進するため、ごみ総量の7割以上を占める家庭系ごみの継続的な分別指導を実施するとともに、3R（リデュース・発生抑制、リユース・再使用、リサイクル・再生利用）の推進について、出前講座の開催や広報紙等による啓発活動を通じて、リサイクル意識の向上に努めた。</p> <p>また、市内の一部モデル地区においてプラスチックの分別収集の実証事業を実施し、今後の市内全域でのプラスチック分別収集に向けた参考データを得ることが出来た。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	再生資源集団回収団体数及び回収量が減少している。	地域連携会議や町内会連合会総会等の場を通して、町内会を中心に周知を行った。団体数及び回収量が引き続き減少傾向であることから、少子化や民間店頭回収の普及等の要因を踏まえながら、今後の事業継続について検討していく。	
②	プラスチックの分別収集・処理スキームを定め、早期に実施しなければならない。	市内の一部モデル地区において実施したプラスチックの分別収集の実証事業及びその他の調査研究より、本市がプラスチックの分別収集による再資源化を実施した場合、従来の焼却処理に比べ、CO2排出量の削減が図られる結果が得られたことを踏まえ、今後分別収集・処理スキーム等の早期実施に向けた検討を継続していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 ごみ減量化を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	市民一人あたりのごみ排出量 (単年)	担当部課					
		市民生活部廃棄物対策課					
指標の考え方	市民の意識醸成、再資源を促進し、市民一人あたりのごみ排出量を減らす。(発生抑制)						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 1,054g/人・日 一般廃棄物処理基本計画に基づき、令和7年度までに基準値から74g/日の削減を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (g/人・日)	1,029	1,017	1,004	992	980		
実績 (g/人・日)	1,051	1,059	994	-	-	R5達成度	a
達成率 ※	97.9%	96.0%	101.0%	-	-		
細節		2 再資源化を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	家庭系ごみリサイクル率 (単年)	担当部課					
		市民生活部廃棄物対策課					
指標の考え方	ごみ総量の7割以上を占める家庭系ごみの分別を徹底し、家庭系ごみのリサイクル率を上げる。(再使用、再生利用)						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 12.1% 一般廃棄物処理基本計画に基づき、令和7年度までに基準値から2.8%の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	13.0	13.5	13.9	14.4	14.9		
実績 (%)	10.2	9.7	9.3	-	-	R5達成度	c
達成率	78.4%	71.8%	66.9%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち		
節	3 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進		
数値目標 (KGI)	住環境と都市機能の整備が推進されていると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 今後の居留意向（①+②） ①[今の場所（住所）にずっと住みたい・当分の間は今の場所に住みたい ・市内の別な場所（住所）に移りたい] 87.6% ②[一度市を離れるが、ゆくゆくは戻ってきたい・できれば市外に移りたい ・すぐにでも市外に移りたい]×1/2 5.0%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値) ⇒ R7 (最終目標値)
	87.6	⇒	50.5 ⇒ 92.6

■節の達成状況

主な担当課	建設部都市計画課		
関係課	建設部河川港湾高規格道路整備推進課、建設部道路課、建設部住宅課、建設部建築指導課、建設部下水道建設課		
令和5年度の主な取組や成果			
立地適正化計画については、住民説明会、パブリックコメントを経て石巻市都市計画審議会へ諮問した。令和6年5月中に答申を受け、事前周知期間を設けて策定・公表を行う予定。 危険ブロック塀については、戸別訪問や文書送付等を実施したが、目標値の6割程度に留まった。 老朽化した市営住宅から復興公営住宅への移転については、移転計画の個別説明及び意向確認を行いながら事業を推進した結果、31世帯が復興公営住宅等に移転した。 空き家バンク制度については、SNSにより情報発信を行い、新たに17件の物件が登録された。 公園施設更新施設数については、令和5年度実施予定件数の一部を令和4年度に前倒しで実施したことにより、単年度目標には届かなかったものの、累積件数については計画通りに実施している。 市民生活や経済活動を支える道路や下水道の整備及び改良を計画的に推進し、概ね目標どおりに進捗した。 石巻港の貨物取扱量については、石巻港の役割や重要性、道路ネットワークの優位性等、利用促進につながるPR活動を実施したが、社会情勢等の影響もあり前年よりも減少した。			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	スクールゾーン内の通学路に設置されている危険性が高いブロック塀について、除却が完了していない箇所がある。	ブロック塀の所有者に対し、戸別訪問、除去依頼文書を毎年送付しているが、高齢で経済的な理由により撤去困難な事例が多いため、粘り強く協力を呼びかけ一箇所でも多く危険を排除することで、通行人の安全確保に努める。	
②	市営住宅に入居する令和2年度～令和5年度の移転対象世帯のうち、77世帯が移転に踏み切れておらず、住環境の改善が図られていない。	令和6年度から、移転を希望する復興公営住宅に空きが出た場合、随時マッチングを実施することとして、令和6年3月から移転先の希望を確認している。	
③	県内産業の将来展望、港湾を取り巻く社会経済情勢の変化に対応した港湾整備が必要。	引き続き、港湾関係者等と連携した要望活動を実施し、荷主企業等に選ばれる港づくりを推進する。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 持続可能な生活基盤整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	立地適正化計画進捗率 (累積)						担当部課
							建設部都市計画課
指標の考え方	立地適正化計画の策定により、生活サービス機能と居住を集約・誘導することで人口を集積し、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築により持続可能な生活基盤を整備する。						
目標値の考え方	令和5年度の策定を目指す。						
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲
目標 (%)		30	100	100	-	-	
実績 (%)		30	60	90	-	-	R5達成度
達成率		100.0%	60.0%	90.0%	-	-	
細節		2 災害に対する備えを充実させる					
重要業績評価指標 (KPI)	危険ブロック塀等除却事業助成件数 (単年)						担当部課
							建設部建築指導課
指標の考え方	災害時の通行人の安全を確保するため、危険ブロック塀等除去件数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 113件 これまでの実績の検証、危険ブロック塀所有者への戸別訪問等により、令和4年度は110件、それ以降は毎年度100件を目指す。						
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲
目標 (件)		100	110	100	100	100	
実績 (件)		113	135	64	-	-	R5達成度
達成率		113.0%	122.7%	64.0%	-	-	
細節		3 安全安心な公営住宅を提供する					
重要業績評価指標 (KPI)	移転計画に基づく市営住宅から復興公営住宅等への移転世帯数 (累積)						担当部課
							建設部住宅課
指標の考え方	耐用年限が経過した公営住宅の用途廃止を推進し、適正な公営住宅の戸数を管理・確保するとともに、復興公営住宅を有効活用するため、既存の市営住宅から復興公営住宅等への移転件数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 単年35件 累積53件 令和2年度事業開始。今後も同程度の実績で推移することが見込まれることから、毎年度40件の移転を目指す。						
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲
目標 (件)	単年 累積	- -	40 93	40 133	40 173	40 213	
実績 (件)	単年 累積	35 53	28 81	31 112	- -	- -	R5達成度
達成率		-	70.0%	77.5%	-	-	

細節		4 空き家対策を強化する					
重要業績評価指標 (KPI)	空き家バンク登録戸数 (累積)						担当部課
							建設部住宅課
指標の考え方	空き家を有効活用するため、空き家物件情報をホームページ上などで提供する「空き家バンク」の登録戸数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 9件 令和3年度事業開始。登録に関する相談は多く寄せられているが、未登記や未相続等が課題となっていることから、今後も同程度の登録戸数が見込まれるため、毎年度10件の登録を目指す。						
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲
目標 (件)	単年 累積	20 20	10 19	10 29	10 39	10 49	
実績 (件)	単年 累積	9 9	8 17	17 34	- -	- -	R5達成度
達成率		45.0%	80.0%	170.0%	-	-	a
細節		5 道路整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	幹線市道の改良率 (単年)						担当部課
							建設部道路課
指標の考え方	幹線市道の道路改良率を向上させる。 ※道路改良率=改良済延長/道路実延長 ※幹線市道：1級及び2級市道						
目標値の考え方	○基準値：令和3年4月1日現在 86.7% 県内平均 令和3年3月31日現在 88.3% 県内平均を目標に令和7年度までに87.0%を目指す。 ※平成29年度から令和3年度まで (5年間) の延長進捗率0.1%						
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲
目標 (%)		-	86.8	86.8	86.9	87.0	
実績 (%)		86.7	87.1	87.3	-	-	R5達成度
達成率		-	100.3%	100.5%	-	-	a
細節		6 公園整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	長寿命化計画に基づく公園施設更新施設数 (累積)						担当部課
							建設部都市計画課
指標の考え方	公園施設の安全確保と機能保全のため、長寿命化計画に基づき公園施設の更新を計画的に進める。						
目標値の考え方	公園施設長寿命化計画に基づき更新施設数を設定した。						
設定値 (単位)		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲
目標 (件)	単年 累積	- -	42 42	13 55	21 76	24 100	
実績 (件)	単年 累積	0 0	50 50	6 56	- -	- -	R5達成度
達成率		-	119.0%	46.1%	-	-	d

細節		7 下水道等の整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	公共下水道 (汚水) 整備率 (累積)						担当部課
							建設部下水道建設課
指標の考え方	生活環境の改善や公共用水域の水質保全と公衆衛生の向上を図るため、公共下水道の整備を推進する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度65.3% 毎年度24.3haを目標に整備を推進する。全体計画面積に対する整備済面積で算出。 ※平成23年度から令和2年度まで (10年間) の平均整備面積24.3ha						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	65.9	66.2	66.8	67.3		
実績 (%)	65.3	65.7	65.6	-	-	R5達成度	b
達成率	-	99.6%	99.0%	-	-		
細節		8 河川・港湾の整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	石巻港取扱貨物量 (単年)						担当部課
							建設部河川港湾高規格道路整備推進課
指標の考え方	東北全体に及ぶ原材料、飼料の物流拠点である石巻港において、生活・産業の安定・拡大のために、取扱量拡大のための取組を行う。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 337万t (令和2年総取扱量) 現状の実績から取扱増加量 (期待値) を想定し、500万tとした。 ※令和5年度実績値：令和4年総取扱量						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (万t)	440	378	419	460	500		
実績 (万t)	337	357	329	-	-	R5達成度	c
達成率	76.5%	94.4%	78.5%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち			
節	1 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実			
数値目標 (KGI)	妊娠・出産・子育てができる環境が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 育児相談やワークライフバランスの充実などの子育て支援（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.6%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	50.0	⇒	48.3	⇒ 67.6

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部子ども保育課		
関係課	保健福祉部健康推進課、保健福祉部子育て支援課		
令和5年度の主な取組や成果			
<p>新生児訪問事業については、保健師又は助産師が家庭訪問し、乳児及び産婦の健康状態や養育状況の確認、育児に関する相談及び未熟児訪問を実施した。また、エジンバラ産後うつ病質問票を用いて産後うつ病の早期発見に務めるとともに、養育環境等で支援が必要な方へ産後ケアや育児ヘルパー等の各種サービスの紹介と併せ、子育て応援給付金の面談を実施した結果、的確な対象者のスクリーニングと伴走型相談支援につながった。</p> <p>産前産後プランの作成については、子育て世代包括支援センターの「いっしょえきまえ」「いっしょへびた」の相談員が、来所する妊産婦とともに、出産前後の行動計画と、利用できるサービスをまとめたプランを作成することにより、出産に対して不安を抱えている妊産婦の安心につながった。</p> <p>待機児童対策については、市内保育施設に就労する32人の保育士に就労一時金を交付し、保育士確保対策を進めたほか、放課後児童クラブにおいても、利用基準の審査段階における厳格化や、鹿妻ほか7地区12支援において、民間委託を進め、人材の確保及び支援員の資質向上を図ることができた。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	少子化により対象数は減少しているが、エジンバラ産後うつ病質問票によるハイリスク者は一定数みられることと、支援者不足の方がみられる。	産婦健診受診後の医療機関からの連絡票により、早い時期に新生児訪問を実施し、関係機関につなぐことで、産後うつ病の予防や育児不安の改善と各種サービスの紹介を行った。	
②	近年、児童クラブ全体の利用者数は横倍の状況が続いているが、一部の地区で待機児童が発生している。	今後の児童数減少を踏まえ、多額の費用を要する児童クラブの建設はせず、既存施設等の活用を検討していく。	
③	保育士等の人材が不足している。	保育施設の再編計画に基づき、今後増える民間保育施設に対する保育士確保支援策として、令和6年度から新たに保育士宿舍借り上げ支援事業を実施する。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 妊娠から出産、子育て期における切れ目のない支援を行う						
重要業績評価指標 (KPI)	新生児訪問事業 (乳児全戸訪問事業) 実施率 (単年)						担当部課	
							保健福祉部健康推進課	
指標の考え方	出産から子育て期の継続的な支援を行うため、新生児の訪問事業 (保健師による生後4ヶ月未満の赤ちゃんがいる世帯への訪問事業) の実施率を上げる。							
目標値の考え方	○基準値: 令和元年度 98.3% 対象期間中に里帰り出産等で訪問できない世帯があるが、それ以外の世帯へ訪問を実施する。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P86	
目標 (%)	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5			
実績 (%)	94.4	98.8	97.0	-	-	R5達成度	b	
達成率	95.8%	100.3%	98.4%	-	-			
細節		2 子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	子育て世代包括支援センター相談窓口における妊産婦に対する産前産後プランの作成数 (単年)						担当部課	
							保健福祉部子育て支援課	
指標の考え方	妊産婦に対し、妊娠期から子育て期までの準備や利用サービス、各種健診を把握してもらい、産み育てやすい環境をつくる。							
目標値の考え方	○基準値: 令和3年度 対象となる妊産婦相談者数 66人 令和4年9月開始。年間出生数の約2割となる140人へのプランの作成を目指す。(いっしょえきまえ70人、いっしょへびた70人)							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (件)	-	70	140	140	140			
実績 (件)	-	133	204	-	-	R5達成度	a	
達成率	-	190.0%	145.7%	-	-			
細節		3 子どもが安心して過ごせる環境を整備する						
重要業績評価指標 (KPI)	保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数 (単年)						担当部課	
							保健福祉部子ども保育課 保健福祉部子育て支援課	
指標の考え方	保育施設等の待機児童数を減少させ、子育て環境を充実させる。							
目標値の考え方	○基準値: 令和2年度 (4月時点) 保育施設12人、児童クラブ170人 保育施設や放課後児童クラブへ申請したものの、定員超過等のため入所・入級できない児童が発生しないよう毎年度0人を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P86	
目標 (人)	0	0	0	0	0			
実績 (人)	8	3	3	-	-	R5達成度	b	
達成率	-	-	-	-	-			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち			
節	2 生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実			
数値目標 (KGI)	高齢者福祉が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○基準値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 高齢者・障がい者への福祉サービスの質の向上（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 21.8%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	48.2	⇒	44.9	⇒ 70.0

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部介護福祉課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>高齢者の生きがいづくりについては、「高齢者の生きがいと創造の事業」において、専門講師による講座を開講し、知識と経験を活かした創造的活動ができる場を提供した。また、令和5年度から北上地区において、クラフトバンド及びつまみ細工講座の2講座を新たに開講、年間を通して事業を実施したことで、高齢者の生きがいづくりを支援することができた。</p> <p>介護予防の取組の推進については、「機能訓練訪問事業」において、日常生活動作が低下した高齢者に対し、理学療法士が短期集中的に訪問し、対象者の問診・指導・評価を実施したことで、身体機能の低下を防ぎ、生活機能の向上が図られた。また、前年度よりも訪問指導員の訪問回数が増加したことで、対象者がより正しく体操を習得することができた。</p> <p>高齢者の生活支援については、在宅で生活する高齢者の方に対して、日常生活で必要となる介護保険制度以外のサービス等を提供することにより、安心して暮らせるよう支援できた。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① コロナ禍による外出自粛などの影響により、生きがいと創造事業等の活動回数や参加者数の減少、介護予防事業の休止や規模の縮小により、高齢者の活動自粛による健康への影響が懸念される。		総合支所及び関係機関と各種会議等において、コロナ禍による高齢者の活動自粛等に伴うフレイル予防の重要性について周知した。今後も、高齢者の社会参加促進に向け、関係機関と連携していく。	
② 理学療法士が訪問する機能訓練訪問事業について、コロナ禍における外出自粛による身体機能低下の為、生活に支障がある高齢者に本事業の利用促進を図り、対象者数を増やす必要がある。		理学療法士が訪問する機能訓練訪問事業の窓口となる地域包括支援センターに対して、機能訓練訪問事業の制度内容について説明を行い、利用者が増加するように周知した結果、対象者数が増え、実績回数も増加した。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 高齢者の生きがいを推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	「生きがい」を持ちながら暮らしている高齢者の割合 (単年)	担当部課					
		保健福祉部介護福祉課					
指標の考え方	高齢者の心身の健康維持や向上を図るためには、日々の生活の中で「生きがい」を持つことが重要であることから、「生きがい」を持つ高齢者の割合を高める。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 67.7% 策定時において、第3期石巻市地域福祉計画（平成29年度～令和3年度）の目標値を達成していなかったため、同目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P91
目標 (%)	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
実績 (%)	70.8	70.1	72.6	-	-	R5達成度	b
達成率	88.5%	87.6%	90.7%	-	-		
細節		2 介護予防等の取組を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	理学療法士の訪問回数 (単年)	担当部課					
		保健福祉部介護福祉課					
指標の考え方	高齢者が在宅で自立した生活を送れるように支援するため、対象者への身体等の評価や体操指導を行う理学療法士による訪問回数を維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 104回 理学療法士の所属事業所との契約において、訪問回数は3～6か月の間に3～6回程度の訪問と定めており、対象者を20名程度と想定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (回)	-	120	120	120	120		
実績 (回)	104	105	108	-	-	R5達成度	b
達成率	-	87.5%	90.0%	-	-		
細節		3 高齢者の生活支援を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	高齢者在宅福祉サービス事業利用者件数 (単年)	担当部課					
		保健福祉部介護福祉課					
指標の考え方	高齢者とその家族へ支援を行うため、高齢者在宅福祉サービス事業（寝具洗濯、バリアフリー補助、タクシー券、日常生活用具給付、訪問理美容）の利用者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 885件 近年の最大値である平成28年度の利用者件数1,189件を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	1,162	1,190	1,190	1,190	1,190		
実績 (件)	997	1,023	850	-	-	R5達成度	c
達成率	85.8%	85.9%	71.4%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち			
節	3 共に安心して暮らせる障害福祉の充実			
数値目標 (KGI)	障害者にやさしいまちづくりが推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○基準値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 高齢者・障がい者への福祉サービスの質の向上（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 21.8%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	48.2	⇒	41.2	⇒ 70.0

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部障害福祉課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>障害者の自立と社会参加への支援については、障害者等が能力・適性に応じ自立した生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス等の給付を行うことにより、障害者等の日常生活及び社会生活を営むための支援を継続して行った。また、令和5年度から、生活の質の向上と安全安心の確保に取り組むため、日常生活用具の給付種目に人工呼吸器や酸素濃縮器等の電気式医療機器に使用する正弦波インバーター発電機及びポータブル電源（蓄電池）を追加し、1件の申請に対し給付を行った。</p> <p>相談支援については、障害者総合支援法に基づき、障害者及びその家族からの日常生活上の困りごとや福祉サービスに関すること等の多様な相談に対し、情報の提供及び専門的な相談支援を行うことにより、障害者等が地域で暮らしていくため、個々に必要なサービスの提供を行うことができた。また、障害に対する理解促進を図るための啓発活動を実施した。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	サービス利用実績は増加傾向にあるものの、障害福祉サービスの利用が分からない障害者の掘り起こし等、事業の周知が十分になされているか検証が必要となっている。	障害福祉ガイドブックにおいては、ホームページには掲載しているものの、詳しい制度説明は手帳交付時に窓口で説明をするのみとなっている。障害福祉ガイドブックを対象者全戸に配布し、サービスの周知を図り、適切な利用へとつながるように努める。	
②	相談件数が増加していることから、現在の事業の質を維持しつつ、相談支援体制の充実を図っていく必要がある。	基幹相談支援センター及び各相談支援事業所において、懸案事項等の検討や解決を図る為に、定例の報告会や事例検討会を行っており、今後も相談支援体制についての連携や強化に努めていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 障害者の自立と社会参加への支援を行う					
重要業績評価指標 (KPI)	障害福祉サービス利用人数 (単年)	担当部課					
		保健福祉部障害福祉課					
指標の考え方	障害のある人が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、障害福祉サービスの利用人数を増やし、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行う。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 1,477人 障害者手帳所持者が減少傾向にあることから、近年のサービス利用実績の推移に基づき利用人数を算出し、併せて障害者の利用ニーズ等を勘案し数値設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	1,577	1,601	1,627	1,647	1,668		
実績 (人)	1,477	1,567	1,633	-	-	R5達成度	a
達成率	93.6%	97.8%	100.3%	-	-		
細節		2 相談・地域生活支援体制を構築する					
重要業績評価指標 (KPI)	障害者相談支援件数 (単年)	担当部課					
		保健福祉部障害福祉課					
指標の考え方	必要な情報の提供及び権利擁護を行うため、相談・支援体制を充実させ、障害者相談支援件数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 12,649件 令和7年度に向けて毎年度60件弱ずつ相談支援件数の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	12,700	12,775	12,858	12,925	13,000		
実績 (件)	12,053	11,953	13,319	-	-	R5達成度	a
達成率	94.9%	93.5%	103.5%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち			
節	4 誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進			
数値目標 (KGI)	心と体の健康づくりが推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 生活習慣予防や食育など健康づくりの取り組み(①+②) ①[満足・どちらかといえば満足] 58.3% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 15.2%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	58.3	⇒	65.4	⇒ 73.5

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部健康推進課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>各種がん検診受診向上の取組については、引き続き受診しやすい環境の整備として、本庁地区において胃がん・肺がん検診について保健区毎に検診車を配車し受診者が足を運びやすい環境で実施したほか、土曜、夕方の検診を実施するなど受診の機会を設け都合に合わせた受診しやすい環境を設けた。また、子宮頸がん検診について、感染原因の「ヒトパピローマウイルス (HPV)」の感染状況を調べる、HPV自主検査事業を新たに導入し、未受診者対策を実施し、その結果、がん予防に対する意識の醸成につながった。</p> <p>地域医療体制については、石巻市医師会、桃生郡医師会及び石巻歯科医師会と委託契約を締結し、休日等急患診療対策事業を実施することで、休日における救急医療体制を確保を図り、市民の急病に対する不安を解消し、安心して暮らせる医療体制を維持することができた。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① がん検診について、総じて受診率が低い傾向にある。		これまでの受診勧奨以外の視点での啓蒙等を検討し、チラシやホームページ等を活用して効果的な啓蒙を検討する。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「a または b」のみでa が半数以上 ○：「a または b」のみでa が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 健康づくりを推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	各種がん検診受診率 (単年)	担当部課					
		保健福祉部健康推進課					
指標の考え方	がん死亡率が全国や県と比較して高い傾向にあることから、がん検診の受診率を上げ、早期発見・早期治療につなげる。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 15.1% 各検診において平成28年度から令和元年度で最も多かった受診者数から毎年度1%ずつ増加を目指し、受診率で毎年度0.2~0.3%ずつ増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	16.2	16.5	16.8	17.1	17.3		
実績 (%)	14.2	16.2	15.8	-	-	R5達成度	b
達成率	87.6%	98.1%	94.0%	-	-		
細節		2 地域医療体制を充実させる					
重要業績評価指標 (KPI)	休日当番医実施率 (単年)	担当部課					
		保健福祉部健康推進課					
指標の考え方	医療機関の当番制によって、休日・祝日における休日当番医を実施し、休日における救急患者の医療体制を確立する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 100% 医療機関の休日における実施率100%を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	100	100	100	100		
実績 (%)	100	100	100	-	-	R5達成度	a
達成率	-	100.0%	100.0%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち			
節	5 みんなが共に支え合う地域共生社会の実現			
数値目標 (KGI)	地域で支え合いが行なわれていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 地域包括ケア体制の推進（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 53.1% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.7%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	53.1	⇒	44.0	⇒ 70.8

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部保健福祉総務課		
関係課	保健福祉部総合相談センター		
令和5年度の主な取組や成果			
地域互助活動推進事業については、前年度まで申請実績のない自治会等の「互助」の意識醸成を図るとともに、広く本事業を活用していただけるよう助成期間の延長、助成対象となる活動回数との緩和、活動区分の改編等の制度の見直しを行ったことで、目標値には達しなかったものの、活動実施団体件数が大幅に増加し、地域住民の主体的な互助活動の促進と地域コミュニティの醸成が図られた。 奨学金返還支援事業については、地域包括ケアを推進する上で必要な医療・福祉・介護の専門職の人材確保と定住促進が課題である現状を踏まえて、令和5年度の新規申請から助成総額を変更せず、助成期間を3年から6年に延長する制度の見直しを行っており、今後も長期的な人材確保及び定住促進を図っていく。 各種相談事業については、家庭児童・母子相談及び市民の日常生活における複雑多様な相談窓口を一元化し、問題解決に向け各関係機関等と連携し適切な支援につなげることができた。また、弁護士による無料法律相談を定期的に実施することにより専門的事案について支援することができた。 各種虐待防止啓発事業については、講演会や出前講座等の実施のほか、各種会議やイベント等様々な機会をとらえ、虐待防止のリーフレットや相談窓口周知用のチラシを広く配付し、各種虐待の未然防止及び重症化を防ぐための啓発ができた。			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	地域における互助活動の意識醸成のために助成を行う事業ではあるものの、各団体が自立して活動を行うまでには至っていない。	令和6年度から助成期間を「10年」、イベント活動は「令和10年度まで」に延長する。また、6年目以降の助成限度額を、事業実施経費の1/2以内で各区分の限度額を超えない範囲とすることで将来的な団体の自立を促していく。	
②	医療、福祉、介護の専門職の更なる人材確保及び定住促進。(奨学金返還支援事業)	令和6年度からオンライン申請の導入、申請手続きの簡略化を行い、申請者の利便性の向上を図るとともに、事業所や対象者の目に触れやすいSNSなどを活用し制度を周知し、専門職の人材の確保や定住促進につなげていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 地域での孤立防止を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	地域互助活動実施団体件数 (単年)	担当部課					
		保健福祉部保健福祉総務課					
指標の考え方	高齢者・障害者・子ども・生活困窮者を対象とした日常生活上の助け合い活動 (送迎支援、買物支援、見守り・声がけ支援等) を行う団体数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 11件 令和5年度以降は同様の事業を整理統合し、申請実績のない自治会等に対して「互助」の意識醸成を図ることを目的として事業の見直しをすることから、これまでの実績に加え、新型コロナウイルス感染症の影響下においても地域活動に取り組んでいる団体の実績を勘案し目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P91
目標 (件)	11	15	55	58	61		
実績 (件)	13	14	41	-	-	R5達成度	C
達成率	118.1%	93.3%	74.5%	-	-		
細節		2 地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	奨学金返還支援事業助成人数 (単年)	担当部課					
		保健福祉部保健福祉総務課					
指標の考え方	市内に居住し、市内の事業所に勤務する医療、福祉、介護等の専門職の方に対し、奨学金返還金を助成することにより、医療、福祉、介護人材を確保する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 36人 これまでの実績に加え、年々申請者が増加傾向にあることから、新規申請者の増加を見込んだ目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P79
目標 (人)	-	41	46	46	46		
実績 (人)	36	39	36	-	-	R5達成度	C
達成率	-	95.1%	78.2%	-	-		
細節		3 各種相談事業を充実させる					
重要業績評価指標 (KPI)	弁護士無料法律相談者数 (単年)	担当部課					
		保健福祉部総合相談センター					
指標の考え方	複雑化・多様化する相談に対応するため、弁護士による無料相談を実施し、専門的事案を支援する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 198人 平成30年度から令和3年度における弁護士無料法律相談の相談者数の平均値を参考に設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	189	189	189	189		
実績 (人)	198	200	209	-	-	R5達成度	a
達成率	-	105.8%	110.5%	-	-		

細節	4 各種虐待防止・DV被害者支援を強化する						
重要業績評価指標（KPI）	虐待防止啓発活動参加者数（単年）					担当部課	
						保健福祉部総合相談センター	
指標の考え方	虐待防止に係る啓発活動を実施し、虐待に対する市民の意識や理解を高め、虐待の未然防止や早期発見につなげる。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 88人 平成30年度から令和3年度における出前講座等の参加者数の平均値を参考にし、毎年度30人ずつ増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）	-	210	240	270	300		
実績（人）	88	301	358	-	-	R5達成度	a
達成率	-	143.3%	149.1%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
節	1 賑わいと活気にあふれる商工業の振興			
数値目標 (KGI)	商工業振興策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 商工業の振興（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 43.5% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 19.4%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	43.5	⇒	44.2	⇒ 62.9

■節の達成状況

主な担当課	産業部商工課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
事業者への経営支援については、新たな産業創出、研究開発、産業人材の育成等の創造的事業を行う事業者に対し産業創造助成金を活用した事業者支援を行い、それぞれの事業を経て、新たな取引先や顧客の獲得、商品の品質向上が図られ、事業者の高度化につながった。また、令和6年度から、次世代放射光施設（ナノテラス）の本格運用が始まることを踏まえ、実験結果やデータ分析結果に基づき、地域資源を活用した製品等の研究開発や製品化等、さらには、その販路開拓にかかる経費について産業創造助成金が受け皿となりうることから、事業者や関係機関に対して制度の周知を図った。 就業環境の充実については、新型コロナウイルス感染症の位置付けが感染症法上の5類移行したことに伴い、人気のツアー事業や催物事業を再開したが、目標には達しなかった。 地域ブランドの育成については、助成金を活用したブランド育成件数は1件のみであったが、6次産業化・地産地消推進センターを活用した販売促進や販路開拓は、昨年度と比較し増加しており、地域の様々な事業者との連携強化が図られ、地域資源の高付加価値化が促進された。 中心市街地活性化の推進については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行したことや、かわまち交流広場の供用開始により、かわまち交流拠点の全ての整備が完了したことなどを背景に、イベントなどが行われ活性化が図られた。			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 6次産業化・地産地消推進助成金において、新商品開発事業・販路開拓事業の助成率の引き下げを行ったことや、1次・2次・3次事業者間の足並みが揃わなかったことなどが要因で目標件数に至らなかった。		市としても6次産業化・地産地消推進センター任せにせず、金融懇談会や中小企業関連支援施策説明会の機会を通じて、事業者や関係機関へ制度の周知を図り、助成金の活用を促したが、左記に記載の要因が影響して助成金の活用件数は伸び悩んだ。6次産業化の取組みはセンターや助成金が創設された当時と比較すると認知度及びニーズが高まっていることから、引き続き、センターと連携し、制度の周知を強化していくほか、6次産業化にかかる取組事例のPRを行い、事業者が6次産業化に向き合うきっかけづくりを推進していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 事業者への経営支援を行う					
重要業績評価指標 (KPI)	産業創造助成金交付による事業支援件数 (単年)	担当部課					
		産業部商工課					
指標の考え方	地域間競争力を向上させるため、事業者の新たな事業展開を支援・促進し、新規販路開拓や新商品開発等の事業活動を目的とした助成金を交付する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 7件 人材育成、研究開発、情報提供、知的財産等取得事業の補助メニューに対し、2件ずつの申請を想定し設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P78
目標 (件)	-	8	8	8	8		
実績 (件)	7	5	13	-	-	R5達成度	a
達成率	-	62.5%	162.5%	-	-		
細節		2 就業環境の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	勤労者福祉サービスセンターにおける共済給付・行事参加延べ人数 (単年)	担当部課					
		産業部商工課					
指標の考え方	中小企業に勤める方の就業環境を向上させるため、総合的な福祉事業をサポートする勤労者福祉サービスセンターの会員を対象に、自己啓発事業や健診事業等の福利厚生事業を実施する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 5,123人 過去の実績を考慮したうえで、一人当たり3回程度の参加を想定し設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	7,750	7,750	7,750	7,750		
実績 (人)	5,123	7,160	6,198	-	-	R5達成度	c
達成率	-	92.3%	79.9%	-	-		
細節		3 地域ブランドを育成する					
重要業績評価指標 (KPI)	6次産業化・地産地消推進助成金を通じたブランド育成件数 (単年)	担当部課					
		産業部商工課					
指標の考え方	地域資源の高付加価値化を図るため、1次・2次・3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発、販路開拓等のブランド育成に対する助成金を交付する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 3件 6次産業化・地産地消推進助成金の交付件数を算出根拠としており、当該件数の目標値を10件と設定した為、その数値に準拠した形で目標値を10件と設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	-	10	10	10	10		
実績 (件)	3	8	1	-	-	R5達成度	d
達成率	-	80.0%	10.0%	-	-		

細節	4 中心市街地活性化を推進する						担当部課	
重要業績評価指標 (KPI)	石ノ森萬画館・元気いちば利用者数 (単年)						産業部商工課	
指標の考え方	中心市街地の活性化を図るため、主要な施設である萬画館・元気いちばの利用者数を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 1,427,143人 周辺地域の整備状況や社会情勢を加味し、意欲的数値である年間1%程度の増加を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)		再掲	
目標 (人)	1,419,758	1,436,373	1,452,988	1,469,603	1,486,218			
実績 (人)	1,233,639	1,481,234	1,576,973	-	-			
達成率	86.8%	103.1%	108.5%	-	-		R5達成度 a	

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
節	2 持続可能な漁業・水産加工業の振興			
数値目標 (KGI)	水産振興策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 水産業の振興（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 16.9%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	50.2	⇒	52.5	⇒ 67.1

■節の達成状況

主な担当課	産業部水産課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>漁場の環境保全については、地元の漁業者団体による海洋ごみの回収・処理の取組を支援し、漁場や沿岸部の環境保全を図った。また、磯焼け対策として市内沿岸部の一部と田代島、網地島の周辺においてウニ駆除等による藻場の保全活動や万石浦における干潟の保全活動を支援し、生態系保全を図った。</p> <p>水産業の担い手確保については、新規就業者数増加の試みとして、受入先の確保や、求人からマッチングを実施することで新規に漁業6名、水産加工業6名の計12名が就業した。また、漁師学校という企画で実際の漁業作業を体験できる研修を開催した結果、8名が参加し、1名の就業につながった。</p> <p>石巻産水産物の生産・輸出体制の強化については、アメリカ向け輸出の体制構築として、現地輸入卸業者や小売店との連携により石巻フェアを2度開催し、石巻産食品のPRや現地消費者の消費動向の調査を行うことにより、消費者が求める商品の傾向をより明確に把握することができた。</p> <p>漁港の施設機能の維持については、新山地区の漁船係留時に支障となっていた泊地内土砂を浚渫することで泊地の機能が確保されたほか、水浜地区の防波堤施設の補修工及び防食工等の機能保全工事を行ったことで、施設の長寿命化が図られ、就労環境の改善及び生産性や作業効率を高められた。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	海洋ごみが漁港・海岸へ漂流、漂着することによる漁場被害や、磯焼けの進行等により漁場に影響が及んでいる。	市内の水産関係団体への啓発活動を実施し、2団体の増加となった。今後も漁業者等による主体的な水域環境保全事業への参加を促していく。	
②	新規就業者は一定程度確保できているが、離職者も多い。新規就業者から水産業の知識を深めたいとの意見もあることから勉強会などの場づくりが必要である。	就業者へのヒアリングを行い、成果や問題点を共有することで離職者が減少した。今後は、勉強会などによる就業者の定着支援のための取組みを強化し、離職率低減を図っていく。	
③	耐用年数の経過により、更新時期を迎える漁港施設が増加していくため、計画的な保全工事を実施及び優先順位を見極めながら取り組む必要がある。	漁港施設機能維持のため、水浜分浜漁港北防波堤において、補修工L=75.97m、防食工30個施工し防波堤機能の改善を図った。また、新山漁港において、浚渫工V=2,291m ³ を行い、泊地内水深を確保することが出来た。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	◎	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 漁場環境の保全を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	海洋の環境や生態系の保全に取り組む団体数 (単年)						担当部課
							産業部水産課
指標の考え方	漁場や海洋環境を保全するため、食害生物や外来生物等の駆除、漂流・漂着ごみの回収処理等の海洋保全活動に取り組む団体を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 8団体 令和3年度に取組を行った延べ団体数を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (団体)	3	8	8	8	8		
実績 (団体)	8	9	11	-	-	R5達成度	a
達成率	266.6%	112.5%	137.5%	-	-		
細節		2 操業体制の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	新規水産業就業者数 (単年)						担当部課
							産業部水産課
指標の考え方	水産業就業者の減少が続いているため、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規水産業就業者を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 13人 平成27年度の事業開始から平均値が7人であるため、毎年度10人を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P78
目標 (人)	10	10	10	10	10		
実績 (人)	13	12	12	-	-	R5達成度	a
達成率	130.0%	120.0%	120.0%	-	-		
細節		3 新たな生産体制・原料確保を促進する					
重要業績評価指標 (KPI)	石巻漁港水揚隻数 (単年)						担当部課
							産業部水産課
指標の考え方	水揚量の確保に向けて国内各地の漁船を誘致するため、訪問や誘致品の宅配等の誘致活動を行い、石巻漁港への水揚隻数を維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 42,839隻 全国的に取り組んでいる漁船漁業の生産性向上により、漁船隻数の減少が進んでいるが、漁船誘致により、水揚隻数の現状の水準を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (隻)	-	42,000	42,000	42,000	42,000		
実績 (隻)	42,839	43,583	44,653	-	-	R5達成度	a
達成率	-	103.7%	106.3%	-	-		

細節		4 水産物の流通体制の強化を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	水産物輸出額 (単年)						担当部課
							産業部水産課
指標の考え方	水産物の消費拡大や販路開拓のため、海外輸出に向けて本市水産物の安全性を発信し、輸出額を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 580,400千円 活動の推進により令和3年度実績から毎年度1千万円ずつ輸出額の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (千円)	-	590,000	600,000	610,000	620,000		
実績 (千円)	580,400	788,320	1,014,102	-	-	R5達成度	a
達成率	-	133.6%	169.0%	-	-		
細節		5 石巻産水産物のブランド化を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	ブランド認証シール活用事業所数 (単年)						担当部課
							産業部水産課
指標の考え方	現在ブランドとして認知されている金華さば、金華かつおについて、ブランド力の維持及び確保に向けて、認証シールを活用する事業者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 10者 令和元年度の実績を基準に毎年度1者の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (者)	11	12	13	14	15		
実績 (者)	10	22	22	-	-	R5達成度	a
達成率	90.9%	183.3%	169.2%	-	-		
細節		6 水産基盤の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	漁港施設機能保全事業対策工事実施箇所数 (累積)						担当部課
							産業部水産課
指標の考え方	漁港施設の機能を保全するため、老朽化した施設や更新が必要な施設の保全工事を実施し、コストの縮減及び平準化を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 3箇所 機能保全計画に基づき、市管理34漁港のうち健全度の低い27施設の対策工事を実施すべく、職員による対応可能箇所数並びに国庫補助金の採択を考慮し実施箇所数を平準化し目標値を設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件) 単年 累積	2 2	7 9	6 15	6 21	6 27		
実績 (件) 単年 累積	3 3	2 5	2 7	- -	- -	R5達成度	d
達成率	150.0%	28.5%	33.3%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
節	3 魅力的な農林畜産業の振興			
数値目標 (KGI)	農林畜産振興策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 農林業の振興（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.6%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	48.2	⇒	45.8	⇒ 65.8

■節の達成状況

主な担当課	産業部農林課		
関係課	産業部ニホンジカ対策室		
令和5年度の主な取組や成果			
農業従事者の確保対策については、石巻市農業担い手センターを活用した、就農相談、農業研修、宿泊場所、就農先の斡旋、就農後のアフターケアまで伴走型の一貫した就農支援を行っている。また、オンラインで遠隔地から対面での個別相談の実施及び体験型の農業イベントを実施することで、体験して初めて分かる大変さや楽しさ、充実感を肌で感じることができ、農業、就農に対して不安の払しょくや興味をもっていただくことができた。その結果、雇用就農2名、独立就農5名の地域の新たな担い手を確保することができた。 森林環境整備については、森林施業が行われずに荒廃した私有林人工林の環境改善に向け、森林経営管理制度を活用した本市への森林施業の委託希望調査を約1,803haの私有林人工林で行うとともに、過年度の意向調査において、本市に森林施業の委託を希望された私有人工林を対象とした間伐による森林整備に努めたが、森林所有者等の同意が得られないなどの理由により、約17.63haの間伐面積に留まった。 ニホンジカによる農作物等への被害の低減については、宮城県猟友会石巻支部・河北支部と連携し、銃猟及びわな猟等による捕獲を行った結果、1,537頭のニホンジカを捕獲した。また、地域住民で組織する地区協議会による取組を推進した結果、侵入防止柵10,550mを貸与し、設置がなされた。			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	新規就農者は一定数確保できているが、離農者も多く、定着が課題となっている。	就農初期の住居等の問題の解消をはじめ、伴走型の支援を継続し孤立を防ぎ、定着に向けた取組に努めていく。	
②	間伐面積の拡大に向け、意向調査面積を拡大したが、業務期間の延伸が生じ、年度内に目標値までの間伐ができなかった。	受注者へ業務担当者の増員を要請するとともに、年度内の完成可能な業務量を精査し、効率的に業務を推進し、目標達成に努めていく。	
③	農畜産物ブランドPR事業の活用がなかった。	市外で開催されるイベントでのPR活動による知名度向上に向け、事業の周知・活用を推進し、目標達成に努めていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	ほ場整備率 (新規採択地区) (累積)						担当部課	
							産業部農林課	
指標の考え方	農地の汎用化により効率的で収益性の高い農業を行うため、ほ場の大区画化や水利条件等の整備を推進する。(福地地区、大森地区、深谷東地区、深谷西地区 計4地区 522.7ha)							
目標値の考え方	令和4年度までに福地地区、大森地区、深谷東地区、深谷西地区が採択され、今後整備される汎用化水田の面積は、522.7haを予定しており、国、県との調整を図りつつ、令和7年度までに200haの汎用化水田を整備することとしている。目標値は、522.7haに対して、汎用化水田完了面積の比率としている。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (%)	-	9.07	22.49	35.91	49.33			
実績 (%)	0	1.30	11.67	-	-	R5達成度	d	
達成率	-	14.3%	51.8%	-	-			
細節		2 持続可能な農業生産体制を整備する						
重要業績評価指標 (KPI)	認定農業者数 (累積)						担当部課	
							産業部農林課	
指標の考え方	効率的で安定した農業経営に向けて、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者や農業法人を認定し支援を行う制度である「認定農業者」が減少傾向にあることから、減少を抑え維持を目指す。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 593件 農業者が減少しているため、認定農業者も減少傾向にあるが、減少幅を抑え、現状を維持する。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (件)	572	567	562	557	555			
実績 (件)	574	558	551	-	-	R5達成度	b	
達成率	100.3%	98.4%	98.0%	-	-			
細節		3 豊かで身近な森林を再生する						
重要業績評価指標 (KPI)	森林経営管理制度による間伐面積 (累積)						担当部課	
							産業部農林課	
指標の考え方	森林施業が行われずに荒廃した私有林人工林の間伐を推進し、水源の涵養、国土の保全、地球温暖化の防止等の森林が持つ多面的な機能の向上を図るとともに、野生動物の隠れ場となっていた荒廃森林を見通しの良い森林に改善し、農地と野生動物の生息場所の緩衝地帯として回復させ、農作物被害の抑制を目指す。							
目標値の考え方	令和3年度計画策定、令和4年度間伐開始。毎年度約58haずつ間伐を実施する。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (ha) 単年	-	58	58	57	57			
目標 (ha) 累積	-	58	116	173	230			
実績 (ha) 単年	0	13.09	17.63	-	-	R5達成度	d	
実績 (ha) 累積	0	13.09	30.72	-	-			
達成率	-	22.5%	30.3%	-	-			

細節		4 石巻産農畜産物のブランド化を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	農畜産物ブランドPR事業への補助件数 (単年)						担当部課
							産業部農林課
指標の考え方	本市農畜産物の消費拡大に向けてブランドの知名度を上げるため、市内の生産者が市外のイベント等に出展する経費の一部補助を行うことで市内農畜産物の知名度向上・ブランド化を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 1件 各種イベントで年2回程度の活動を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	-	2	2	2	2		
実績 (件)	1	1	0	-	-	R5達成度	d
達成率	-	50.0%	0.0%	-	-		
細節		5 安全で高品質な農畜産物の安定供給体制を構築する					
重要業績評価指標 (KPI)	農畜産物の安全性情報発信件数 (単年)						担当部課
							産業部農林課
指標の考え方	安心して本市農畜産物を消費してもらうため、安全性を定期的に発信する。						
目標値の考え方	放射性物質の検出はほぼなくなっているが、年2回程度、ホームページ等で安全性を発信する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	2	2	2	2	2		
実績 (件)	0	2	2	-	-	R5達成度	a
達成率	0.0%	100.0%	100.0%	-	-		
細節		6 持続可能な農業経営体を育成する					
重要業績評価指標 (KPI)	新規就農者数 (単年)						担当部課
							産業部農林課
指標の考え方	農業従業者の高齢化や担い手不足が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規就農者を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 4人 近年の実績から毎年度2人程度の確保を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P78
目標 (人)	2	2	2	2	2		
実績 (人)	4	7	7	-	-	R5達成度	a
達成率	200.0%	350.0%	350.0%	-	-		

細節		7 農作物の被害対策を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	有害鳥獣 (ニホンジカ) による被害額 (単年)	担当部課					
		産業部ニホンジカ対策室					
指標の考え方	ニホンジカ生息頭数の増加や生息域の拡大に伴い農作物被害や自動車との衝突事故による被害が発生していることから、関係機関と連携して有害捕獲を進め、生息頭数の削減に努めるとともに、農作物被害軽減のための獣害防止柵を設置することにより、ニホンジカによる被害額の軽減を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度被害額 48,759千円 石巻市鳥獣被害防止計画において、農作物等の被害額を4年間で2割減とする目標を設定していることから、同様に基準値比で年間5%被害額を軽減させる目標値を設定した。 ※令和5年度実績値：宮城県が公表する速報値 (6月末公表)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)		
目標 (千円)	-	46,000	44,000	41,000	39,000	再掲	
実績 (千円)	48,759	41,101	集計中	-	-	R5達成度	
達成率 ※	-	111.9%	-	-	-	a	

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
節	4 地域資源を活かした観光事業の振興			
数値目標 (KGI)	観光振興策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 観光の振興（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 32.9% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 25.9%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	32.9	⇒	59.9	⇒ 58.8

■節の達成状況

主な担当課	産業部観光政策課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>新型コロナウイルス感染症の位置付けが感染症法上の5類移行したことに伴い、全国的に様々な規制が緩和されることとなり、本市においても概ねコロナ禍前の観光振興施策を行うことができた。日和山公園観桜期間の設定及び夜桜ライトアップや、市内5箇所海水浴場を全て開設したほか、市内各地のお祭りやイベントが従来通りの規模で開催された。</p> <p>また、令和4年に追加認定を受けた日本遺産「みちのくGOLD浪漫」を活用してのPRや、三越本店で開催されたイベントで「ほや雑煮」を提供する等、首都圏での観光PRを行う機会が得られたほか、第100回記念川開き祭りでは、多くの観光大使が参加し、SNS上での情報発信にも協力していただき、従来以上のPRができた。</p> <p>令和5年度における市全体の観光客入込数は前年度より682,678人増加した。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	コロナ禍収束後の状況に合わせた各種事業の実施が課題となっている。	感染拡大の収束に伴い、コロナ禍以前の状態まで回復するよう取り組んだ。	
②	首都圏での観光PRが課題となっている。	東京や大阪等で開催されたイベントに参加し、本市の観光PRを実施した。	
③	SNSを通じた効果的なPRが課題となっている。	投稿内容や時間等を工夫した他、観光大使の活用によって従来よりも効果的なPRができた。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	◎	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 地域資源を活用した観光誘客を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	宿泊観光客数 (単年)						担当部課
							産業部観光政策課
指標の考え方	本市は宿泊施設が少なく通過型観光が中心であるが、宿泊観光客は、各観光施設や各種イベントの入込にも波及するものであることから、宿泊者数の増加を図る。						
目標値の考え方	○基準値：平成31年1月～令和元年12月 246,599人 平成30年から令和元年の増加人数が2,404人だったことから、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、半分である1,200人の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	247,800	247,800	247,800	247,800	247,800		
実績 (人)	149,412	181,999	238,573	-	-	R5達成度	b
達成率	60.2%	73.4%	96.2%	-	-		
細節		2 観光振興体制を構築する					
重要業績評価指標 (KPI)	観光政策課SNSフォロワー数 (累積)						担当部課
							産業部観光政策課
指標の考え方	観光誘客につなげるため、あらゆる情報媒体を活用して本市の魅力を発信し、SNSのフォロワー数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 インスタグラム 1,496件、フェイスブック 3,394件 令和4年度以降は、前年比およそ1割の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	1,200 3,500	1,650 3,700	1,800 4,000	2,000 4,400	2,200 4,800		
実績 (件)	1,496 3,394	1,861 4,426	2,071 4,560	-	-	R5達成度	a
達成率	-	116.1%	114.5%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
節	5 企業誘致の推進と新たな産業の創出			
数値目標 (KGI)	新たな雇用が創出されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 企業誘致や新たな産業創出（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 28.6% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 27.8%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	28.6	⇒	31.0	⇒ 56.4

■節の達成状況

主な担当課	産業部産業推進課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>企業立地については、コロナ禍における経営悪化、資材高騰、人件費高騰や先行きの不透明感などに起因する設備投資控えの影響がある中で、これまでの継続案件を遅滞なく進めたほか、企業訪問時に企業立地等促進条例に基づく各種助成金や活用可能な各種優遇制度を紹介することで、設備投資予定のある企業を掘り起こすことができ、企業立地件数を目標相当程度達成することができた。</p> <p>創業支援については、本市独自の創業支援補助制度により創業希望者への経費支援を行うとともに、創業に係るスキルを学ぶことができる創業開成塾や、各種相談会・セミナー等を実施したことで、創業予定者や実際に創業した方をサポートすることができた。</p> <p>地域資源の利活用については、マンガン酸リチウムイオン電池を製造している事業所の「リチウムイオン電池を活用した自然エネルギーのまちづくりについて」と栄養豊富な微細藻類「ナンノクロロプシス」の研究・生産についてのセミナーを実施し、地域資源を活用した技術開発や活動内容の情報共有を図った。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	企業訪問件数は目標を達成できたが、上記の設備投資控えの影響もあり、企業立地件数については目標件数に届かなかった。	半導体業界や道路運送業などの業種では新規の設備投資計画が堅調であることから、企業のオーダーに応じた立地場所、優遇制度などの情報提供を親切丁寧継続して行っていく。	
②	創業開成塾受講者は例年並であり、創業目標件数に到達したが、創業に至らない方もいたため、前年度の創業件数を下回った。	創業開成塾受講後、実際に創業するまでのフォローアップを宮城県よろず支援拠点等の支援事業者と連携して行う。	
③	市内企業への地域資源の利活用促進を図るため、セミナーの継続的な開催が必要となっている。	石巻地域産学官グループ交流会にて、引き続きセミナー等を開催していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 新規及び既存企業への立地などに伴う支援を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	立地企業件数 (単年)	担当部課					
		産業部産業推進課					
指標の考え方	企業誘致は新たな雇用創出や定住人口の増加につながるほか、市税収入等の増加にも効果があることから、企業立地意向調査や企業訪問等に取り組み、市内に新たに立地する企業数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 5件 過去5年間の企業立地実績をベースに、今後の用地分譲件数を考慮して設定した。 ※過去5年の平均立地件数/年+今後平均分譲数/年×(100-指定企業者率34%)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P82
目標 (件)	10	10	10	10	10		
実績 (件)	10	9	8	-	-	R5達成度	b
達成率	100.0%	90.0%	80.0%	-	-		
細節		2 新規創業や第二創業を促進する					
重要業績評価指標 (KPI)	新規創業・第二創業件数 (単年)	担当部課					
		産業部産業推進課					
指標の考え方	助成制度や相談支援体制を充実させ、新規創業や第二創業件数 (中小企業等が、新しい経営者を就任させ、新しい分野に進出すること) を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 4件 創業支援等事業計画に基づき創業者数を設定した。 (創業者数=推定年間創業件数100件×潜在的創業希望者割合6.8倍×創業希望割合47%×支援目標10%×創業率10%)等の合算						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	9	9	9	9	9		
実績 (件)	9	14	9	-	-	R5達成度	a
達成率	100.0%	155.5%	100.0%	-	-		
細節		3 地域資源を活かした産業を強化する					
重要業績評価指標 (KPI)	地域資源利活用セミナー参加者数 (単年)	担当部課					
		産業部産業推進課					
指標の考え方	CNFなど、今後用途・事業展開が見込まれ地域資源の利活用を促進するため、セミナーの開催や情報提供を行うほか、新技術の導入、新規事業への進出等、経営基盤の強化や新たな事業展開を行う事業者への支援を行うことで、地域の雇用創出や産業の活性化に努める。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 20人 令和元年度に開催したCNFセミナーでの参加事業者数を基準として20人と設定した。令和7年度以降は年2回開催、各20人として設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	20	20	20	20	40		
実績 (人)	0	83	60	-	-	R5達成度	a
達成率	0.0%	415.0%	300.0%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち		
節	6 未来の産業を担う人材の確保と育成		
数値目標 (KGI)	未来の産業を担う人材の確保と育成に関する取組が充実していると感じる市民の割合		
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 販路拡大や人材確保など地元企業の育成（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 30.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 26.7%		
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)
	30.0	⇒	34.6
		⇒	R7 (最終目標値)
			56.7

■節の達成状況

主な担当課	産業部産業推進課		
関係課	産業部商工課		
令和5年度の主な取組や成果			
<p>人材の確保について、高校3年生を対象とした合同企業説明会及び企業面接会に、222名の就職希望生徒が参加し、高校2年生を対象とした合同企業説明会には、107名が参加した。また、一般求職者向けの合同企業説明会を2回、60歳以上を対象とした高齢者向けの合同企業説明会を1回開催し、計139名の参加があった。その他、就職を希望する桜坂高校の3年生を対象とした企業見学ツアーに13名が参加、石巻専修大学の学生を対象とした企業研究セミナーには45名が参加した。</p> <p>人材育成支援について、若手経営者を対象に、経営に必要なスキル、課題解決等を年間を通して学ぶ「中小企業セミナー（経営革新塾）」を開催した。参加者数を絞り込んだことにより、少人数であるがゆえに深掘した内容のセミナーとなり、参加者の満足度も高く、学んだことが徐々に実践されてきている。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	高校生の管内就職率を上げていくためには地元企業を知ってもらう取り組みが必要である。	桜坂高校の3年生を対象とした企業見学ツアーは就職活動解禁後の夏休みに開催し、地元企業の理解を深めることができた。	
②	中小企業セミナー参加者について、2年連続で目標を下回る結果となった。	これまでの参加者アンケートを分析し、意向に沿ったセミナーの開催時間帯や内容を検討する。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 関係機関との連携により人材を確保する					
重要業績評価指標 (KPI)	合同企業説明会への求職者の参加人数 (単年)	担当部課					
		産業部商工課					
指標の考え方	産業人材を確保及び育成するため、関係機関との連携により合同企業説明会の参加人数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 一般向け 16人、高校生向け 413人 (2回) 令和4年度からは高校生の合同企業説明会参加者を含めて設定した。 一般求職者向け 100人 (年2回×1回あたり50人) 高校生向け 250人 (年1回)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P82
目標 (人)	200	350	350	350	350		
実績 (人)	429	77	526	-	-	R5達成度	a
達成率	214.5%	22.0%	150.2%	-	-		
細節		2 人材の育成支援を行う					
重要業績評価指標 (KPI)	中小企業セミナー参加者数 (単年)	担当部課					
		産業部産業推進課					
指標の考え方	中小企業の課題解決に向けて、ワークショップ形式や討論形式による対話型のセミナーを開催し、参加者数を維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 16人 過去の実績を踏まえ、ワークショップ等を実施するのに適切な人数規模で設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	15	15	15	15	15		
実績 (人)	15	12	12	-	-	R5達成度	b
達成率	100.0%	80.0%	80.0%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	1 安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進			
数値目標 (KGI)	安全安心な教育環境が整備されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 学校設備や教材等の学習環境の質の向上（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.3% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.2%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	50.3	⇒	51.8	⇒ 67.5

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会学校管理課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>文部科学省が策定した教材整備指針を参考に「石巻市立小・中学校教材整備方針」を定め、令和2年度からの10年間で、各小中学校で設定した整備目標に対して充足率を100%に近づけるよう教材の整備を図ることとしており、令和5年度においても、学校現場との協議のもと、教材整備を推進し、児童生徒の教育効果を高めることに寄与した。教材の購入にあたっては、入札等により予算を有効活用し整備数を伸ばした。</p> <p>校舎等の整備については、老朽化の著しい前谷地小学校のプール改築工事が完了したほか、須江小学校屋内運動場及びプールの改築工事に着手した。</p> <p>また、今後も長く将来にわたって施設を使用していくための長寿命化を図ることを目的とした石巻中学校の校舎及び屋内運動場の長寿命化改修工事が完了した。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	限られた予算・学校敷地の中で学校生活に支障をきたすことなく必要な施設整備を実施していく必要がある。	学校現場と調整し、対応策を協議し、工夫しながら対応していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 充実した教育を行うための環境を整備する					
重要業績評価指標 (KPI)	学校教材整備目標に対する備品の充足率 (累積)						担当部課
							教育委員会学校管理課
指標の考え方	良好で質の高い教育環境のため、教育内容や指導方法に対応した教材の購入や、老朽化した教材の計画的な更新を進める。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 47.4% 文部科学省の教材整備方針に基づき策定した石巻市小・中学校教材整備方針における考え方を基本とし、現状を踏まえた充足率を設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	60.00	63.70	67.40	71.00	74.60		
実績 (%)	57.50	66.95	69.75	-	-	R5達成度	a
達成率	95.8%	105.1%	103.4%	-	-		
細節		2 安全安心な学校施設整備を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	校舎等整備事業完了件数 (累積)						担当部課
							教育委員会学校管理課
指標の考え方	児童・生徒が充実した学校生活をおくるためには、学習・生活の場である学校が安全・安心である必要があることから、学校施設を計画的に整備・更新する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 3件 石巻市学校施設整備保全計画に基づき、将来的な学校施設の統合を踏まえ、整備完了件数を概ね年3件と目標値を設定した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	3	3	6	9	9		
実績 (件)	3	3	6	-	-	R5達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	2 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実			
数値目標 (KGI)	学校教育が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 国際理解や情報・環境教育など現代社会に対応した教育の推進（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 43.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 20.6%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	43.8	⇒	56.2	⇒ 64.4

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会学校教育課		
関係課	教育委員会教育総務課		
令和5年度の主な取組や成果			
学校教育の充実を図るため、「学校わくわくプラン事業」において、マルチレベルアプローチ理論を取り入れ、生活面や学習面に好影響を与えることができた。また、児童生徒にやる気や自信を与える取組として、各小・中学校で「タブドリ祭り」を開催することにより、児童生徒が意欲的にタブレット端末を活用して学ぶようになってきている。11月には「わくわくフェスティバル」として、小学生を対象としたプロダンス講師によるダンスフェスティバルを開催した。 外国語教育の推進については、ALTが自分から積極的に授業のアイデアを提供し、創意工夫がある魅力的な授業が各学校で展開された。また、ALTと外国語科教員が2人体制で授業を行うことで、児童・生徒のコミュニケーションへの意欲を効果的に高めることができた。 奨学金貸与制度については、国において令和2年度より給付型の奨学金を創設したこともあり、利用者数は減少傾向にあるが、令和5年度に修学資金を貸与した学生全員が進学あるいは卒業を果たし、学生の進学支援に寄与することができた。 就学に係る支援の強化については、申請者のうち、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、漏れなく適切な支援を実施することができた。			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 児童生徒にやる気や自信を与える取組の促進が必要となっている。		「タブドリ祭り」の開催に加え、非認知能力を土台とし、主体的な取組を促すことを目的とした「わくわくフェスティバル」を実施した。	
② 国及び県と比較し、学力向上試験結果が低い。		読書は、読解力や語彙力、論理的思考力等の基礎学力向上を図るために有効であり、市内2小学校に電子図書を試験導入したところ、隙間時間にタブレット端末で読書する児童が多く見られるなど、効果が認められたため、令和6年度から市内の全小学校に電子図書を導入する。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	◎		◎
	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 学校教育の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 (単年)	担当部課					
		教育委員会学校教育課					
指標の考え方	児童生徒の主體的に生きる力を育成するため、児童生徒の意欲を高めることが重要であることから、学校が楽しいと感じている児童生徒の割合を高める。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 83.6% 高い数値で推移しているが、引き続き高水準を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P86
目標 (%)	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0		
実績 (%)	91.7	91.0	92.2	-	-	R5達成度	a
達成率	114.6%	110.9%	109.7%	-	-		
細節		2 外国語教育を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	ALTとの授業が楽しい児童生徒の割合 (小・中学校) (単年)	担当部課					
		教育委員会学校教育課					
指標の考え方	国際化が進展する現代において、異文化を受容し共生する能力を育成するため、外国語を身近に感じ、ALTとの授業が楽しいと感じている児童生徒の割合を高める。						
目標値の考え方	○基準値：平成29年度～令和3年度の平均 87.62% 令和3年度以前より高い数値で推移しているが、現状と同程度の水準を維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	90.0	90.0	90.0	90.0		
実績 (%)	90.9	90.5	93.0	-	-	R5達成度	a
達成率	-	100.5%	103.3%	-	-		
細節		3 有能な人材を育成支援する					
重要業績評価指標 (KPI)	奨学金貸与者のうち、進級又は修了(卒業)した者の割合 (単年)	担当部課					
		教育委員会学校教育課					
指標の考え方	未来を担う学生が経済的理由等により就学を諦めることがないように、奨学金の貸与を実施する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 97.8% 奨学金貸与者全員が無事に進級又は終了(卒業)することを目標とする。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	100	100	100	100		
実績 (%)	97.8	93.5	100	-	-	R5達成度	a
達成率	-	93.5%	100.0%	-	-		

細節		4 就学に係る支援を強化する					
重要業績評価指標 (KPI)	就学援助を要する児童生徒の保護者への補助実施率 (単年)	担当部課					
		教育委員会教育総務課					
指標の考え方	経済的理由等により就学困難な児童生徒が必要な支援を受けられるよう、学用品費や通学用品等をはじめとして就学に係る費用の助成を行う。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 100% 申請者のうち、経済的理由等により就学困難と認められる児童生徒の保護者が漏れなく適切な支援を受けることを目標とする。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	100	100	100	100		
実績 (%)	100	100	100	-	-	R5達成度	a
達成率	-	100.0%	100.0%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	3 いのちを守る防災教育の推進			
数値目標 (KGI)	防災教育が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 防災知識の普及や防災教育の充実などの地域防災力の向上（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.1% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 19.6%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	50.1	⇒	65.4	⇒ 69.7

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会学校安全推進課		
関係課	教育委員会学校教育課		
令和5年度の主な取組や成果			
相談体制の充実については、市内全ての小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、震災の影響を含め、日々の学校生活の中で心のケアが必要な児童生徒、保護者に対する相談業務を継続して実施しているほか、教員に対する相談業務も行っている。令和5年度は市内の全小・中学校で教員への研修会を実施し、カウンセリングマインドの醸成が図られた。 防災教育の充実については、教職員の災害対応力の向上を目的として実施している「防災主任研修会」において、山形大学や東北大学の教授がアドバイザーとなり指導助言をいただきながら、地形図やハザードマップを用いた学校区における災害リスクに関する講義・演習、地震津波・原子力避難訓練モデル校の参観、セーフティプロモーションスクール（※）を含めた各種モデル校の成果発表を行うことで、防災教育の共通理解を深めた。 また、令和5年度から石巻市総合防災訓練の日を登校日とし、地域と連携した避難訓練や防災に関する学習を実施することで、児童生徒及び教職員の防災意識の向上が図られた。			
※セーフティプロモーションスクール（SPS）：学校独自の学校安全の推進を目的とした目標・計画を設定し、それを達成するための組織整備や実践等を行い、それらの結果を分析し客観的な根拠に基づいた評価を共有し、継続して学校安全の推進を図っていく学校のこと			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	震災を経験していない児童生徒や教職員が増える中、如何にして震災の教訓を伝え生かすか	防災教育副読本を毎年度見直し、児童生徒及び教職員の実態に応じた活用しやすい副読本の作成に努めている。また、総合防災訓練の日を登校日とし、地域と連携した避難訓練を実施。東日本大震災に関することも含めた防災学習の時間として活動し、防災意識の向上が図られた。	
②	スクールカウンセラー活用は十分なされているものの、多様化・複雑化する学校現場における課題に対応するため、校内における相談体制をさらに充実させていく必要がある。	スクールカウンセラーによる教職員研修会の好事例を校長会議や教頭会議で紹介した結果、令和5年度は全市立小・中学校でスクールカウンセラーによる研修・助言による指導を受けることができた。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	◎	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 心のケアや相談体制の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	スクールカウンセラーを活用した各校の教員研修会実施率 (単年)	担当部課					
		教育委員会学校教育課					
指標の考え方	児童生徒、保護者及び教職員の心理的安定を図るため、全校に配置しているスクールカウンセラー (教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家) による、教員への研修会を全校で実施する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 スクールカウンセラー配置率100% スクールカウンセラーによる教員への研修会を毎年度全校で実施する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P87
目標 (%)	-	100	100	100	100		
実績 (%)	-	49.0	100	-	-	R5達成度	a
達成率	-	49.0%	100.0%	-	-		
細節		2 防災教育の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	防災教育研修回数 (単年)	担当部課					
		教育委員会学校安全推進課					
指標の考え方	防災教育の指導力と学校の災害対応力を高めるため、教職員に対する防災教育研修会を実施し、開催回数を維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 4回 全学校の安全担当主幹教諭や防災主任を対象とした実践的な防災教育研修会を年4回維持する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (回)	4	4	4	4	4		
実績 (回)	4	4	4	-	-	R5達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
節	4 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進			
数値目標 (KGI)	地域ぐるみでの教育活動が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 地域と連携した学習機会の提供（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 47.5% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 18.5%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	47.5	⇒	56.2	⇒ 66.0

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会生涯学習課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>「ふるさと子どもカレッジ事業」については、市内小学校高学年の生徒を対象に参加者を募集し、市内各地域の特色を活かした体験活動を取り入れた講座を開設することにより、子どもたちの豊かな心を育み、自らの故郷について知り、学ぶ機会を創出した。</p> <p>参加者の増加を図るため、バイオマス発電所見学、有機農法の出前授業、林業の見学や作業体験等の全7回の講座を企画したが、申込人数は前年度を若干下まわる21名となった。</p> <p>「ジュニア・リーダー活動」については、ジュニア・リーダーサークル間の交流活動の場を設定することにより、相互に学び合う機会が増え、活動意欲の高まりにつながった。前年度より活動制限が少なくなり、各種団体からの派遣要請に積極的に応じたことで、活動内容の充実と資質の向上を図ることができた。また、昨年度に引き続きふるさと子どもカレッジにおけるスタッフとしての活用や地区青年文化祭への参加など、活動の場を増やすことにより、ジュニア・リーダーと児童がお互いに成長する機会の確保へとつながった。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① ふるさと子どもカレッジについて、募集定員30人に対して、参加人数が満たない。	新型コロナウイルス感染症の5類移行もあり、積極的に各小学校への募集を行ったが、今後は周知方法を学校からのメール等も活用するとともに、申込方法の簡素化を図る。 また、児童の興味関心を引く企画となるよう取り組んでいく。		
② 子ども会の縮小やジュニア・リーダー会員数が減少していることで、活動機会が限定されることがあった。また、初級研修会受講者が前年度より大幅に増加したが、新規会員増につなげることができなかった。	ジュニアリーダーの認知度向上の観点から、子ども会以外の児童との活動機会を確保するべく、新たな活動の場の開拓やジュニア・リーダー初級研修会への参加周知強化に取り組んだ。 また、初級研修会受講者の入会につなげるためのフォローアップに努めていく。		
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 地域で支える教育活動を支援する					
重要業績評価指標 (KPI)	ふるさと子どもカレッジ参加者満足度 (単年)	担当部課					
		教育委員会生涯学習課					
指標の考え方	子どもたちが郷土の自然や文化を体験するため、地域や企業の協力のもと、年間7回を通して各地区の特色を生かした講座を開催し、参加者の満足度が高い内容を実施することで参加者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 83% 全参加者が満足できる事業内容を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P83
目標 (%)	100	100	100	100	100		
実績 (%)	100	100	100	-	-	R5達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	-		
細節		2 青少年の健全な成長を支援する					
重要業績評価指標 (KPI)	ジュニア・リーダー活動数 (単年)	担当部課					
		教育委員会生涯学習課					
指標の考え方	子ども会活動等における体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアであるジュニア・リーダーを育成し、活動数を増やすことにより、中高生であるジュニアリーダーと児童がお互いに成長する機会を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 49人 令和3年度の実績を基準とし、毎年度約10%の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	55	60	65	70		
実績 (人)	49	138	247	-	-	R5達成度	a
達成率	-	250.9%	411.6%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	5 豊かな地域社会を育む生涯学習の推進			
数値目標 (KGI)	生涯学習に親しむ取組が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 図書館、文化ホールなどの整備・充実（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 35.7% ②[どちらかといえば不満・満足]×1/2 25.6%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	35.7	⇒	57.9	⇒ 61.3

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会生涯学習課		
関係課	教育委員会図書館		
令和5年度の主な取組や成果			
<p>生涯学習環境の充実を目的に実施している出前講座は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により外出や集会の機会も増え、庁内外の協力のもとに講座メニューを更新し、「日本遺産みちのくGOLD浪漫を知ろう!」「こども防災教室」等の子ども向けの講座を中心に12講座を新規メニューとして開設した。また、申請手続きについてEメールでの受付を可能とするなど、利便性向上を図ったことにより、実績の増加へとつながった。</p> <p>図書館において、駐車場整備に合わせて障害者就労施設の物販と除籍本の無償譲渡会を実施した。また、市民サロン再開に伴う除籍本の設置、「出張図書館しやくしょ」を開催、視覚障害者及び視覚による表現の認識が困難な方々への情報提供などのソフト事業の充実を図った。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 出前講座のリピーターが多く、新規利用者が少ない		行政委員配布、市報及びホームページによる周知以外にも、実際の講座の様子を取材した記事を、SNS等へ掲載することにより、講座内容の周知に努めた。	
② 庁内連携を行い多様化する図書館のニーズに応えることで、図書館機能の充実を図る。		連動企画とした、みちのくGOLD浪漫に関する郷土史講座の開催等、関係各課と連携を図りながら対応した。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	◎		◎
	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 生涯学習環境を強化する					
重要業績評価指標 (KPI)	出前講座実施件数 (単年)	担当部課					
		教育委員会生涯学習課					
指標の考え方	出前講座のメニューを充実させることにより、出前講座申込件数の増加を図り、生涯学習事業参加者数の増加へつなげる。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 103件 令和3年度の実績を基準とし、毎年度約5%の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	-	105	110	115	120		
実績 (件)	103	144	220	-	-	R5達成度	a
達成率	-	137.1%	200.0%	-	-		
細節		2 読書の推進・環境を整備する					
重要業績評価指標 (KPI)	図書館利用者数 (単年)	担当部課					
		教育委員会図書館					
指標の考え方	市民の読書活動を推進するため、図書館利用者を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 102,266人 令和3年度の実績を基準とし、月30人×12か月＝年間360人ずつ増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	102,626	102,986	103,346	103,706		
実績 (人)	102,266	108,967	110,594	-	-	R5達成度	a
達成率	-	106.1%	107.3%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	6 生涯にわたるスポーツ活動の推進			
数値目標 (KGI)	スポーツに親しむ取組が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） スポーツ・レクリエーションなどが出来る機会の提供（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 42.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 22.5%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	42.0	⇒	63.6	⇒ 64.5

■節の達成状況

主な担当課	市民生活部スポーツ振興課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
小学校低学年を対象としたキッズバラエティスポーツ教室やティーボール教室を実施したほか、老若男女が楽しめる体育館スポーツ教室などを実施し、市民の体力と運動能力向上につなげた。 スポーツを通じた交流活動として、市主催スポーツ交流イベントや、パラスポーツを通じて、市内小中学生に共生社会への気づきや学びの機会を提供する「あすチャレ！スクール」をはじめ、市内外から大勢の方が参加した「いしのまき復興マラソン」や「ツール・ド・東北」等を実施した。 プロアスリートやオリンピック、パラリンピアンをはじめ、市内外の方々との交流が促進され、スポーツの楽しさや魅力を伝えられたことで、市民の健康増進や青少年の健全育成が図られた。			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	イベントを実施するにあたり、参加者のニーズ把握やPRが不十分であったことから、参加者の伸び悩みがあった。	各事業についてニーズを把握した上で内容の見直しを図り、満足度が高いイベントを企画し、公式LINEや関係団体のSNSを活用しながら、より多くの参加者が集まる事業を実施する。	
②	いしのまき復興マラソンについて、令和4年度よりも大幅に参加者が減少した。	参加したランナーから寄せられた様々な意見に応えるため、コースや実施種目等を含めた内容を見直し、満足度の高い大会になるよう改善を図っていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 スポーツ活動を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	スポーツ教室参加者数 (単年)	担当部課					
		市民生活部スポーツ振興課					
指標の考え方	市民がスポーツを実施する機会を確保するため、各種スポーツ教室を実施し、参加者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 3,117人 実績に計上する事業を整理し、令和3年度の実績を基準に毎年度1%ずつ増加を目指す。 総合型地域スポーツクラブ普及促進事業、保育園体育教室、キッズバラエティ教室、卓球・バドミントン教室、出前講座、ティールーム教室の集計。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	4,000	12,000	12,120	12,240	12,360		
実績 (人)	3,117	9,845	11,503	-	-	R5達成度	b
達成率	77.9%	82.0%	94.9%	-	-		
細節		2 スポーツ環境を整備する					
重要業績評価指標 (KPI)	体育施設利用者数 (単年)	担当部課					
		市民生活部スポーツ振興課					
指標の考え方	老朽化した施設の改修や既存施設の開放により、市民が安全で快適にスポーツを実施できる環境を整え、体育施設の利用者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 446,027人 毎年度5%ずつ増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	423,000	468,000	491,000	516,000	542,000		
実績 (人)	446,027	442,136	503,756	-	-	R5達成度	a
達成率	105.4%	94.4%	102.5%	-	-		
細節		3 スポーツを通じた交流活動を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	スポーツ交流イベント参加者数 (単年)	担当部課					
		市民生活部スポーツ振興課					
指標の考え方	市民がスポーツの楽しさや魅力を身近に感じられるよう、市内外から多くの人を呼び込める様々なスポーツ交流イベントを開催し、参加者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 375人 実績に計上する事業を整理し、新たに事業を追加した。令和3年度の実績を基準に毎年度1%ずつ増加を目指す。 市主催スポーツ交流イベント、プロスポーツと連携したスポーツ交流事業、オリンピックデーラン、あすチャレ！school、ツール・ド・東北、復興マラソン、県駅伝競走大会の集計。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	400	5,000	5,050	5,100	5,150		
実績 (人)	375	5,038	4,801	-	-	R5達成度	b
達成率	93.7%	100.7%	95.0%	-	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	6 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち			
節	1 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進			
数値目標 (KGI)	信頼される行政サービスが行われていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 市役所の窓口サービス（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 54.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.8%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	54.0	⇒	52.8	⇒ 71.8

■節の達成状況

主な担当課	総務部秘書広報課		
関係課	総務部総務課、復興企画部DX推進課		
令和5年度の主な取組や成果			
<p>広聴事業については、「動く市長室・意見交換会」を11回開催し、各総合支所、各支所及び網地島で開催したほか、「市長室開放デー」を開催し、「まちづくり懇談会」を2回開催した。その結果、目標の150人を大幅に上回る269人が参加した。市民から意見・提案ができる機会をつくることができ、市民と一体となったまちづくりを推進することができた。</p> <p>広報事業については、「市報いしのまき」の発行、ホームページでの周知、記者クラブへの投げ込み等により、様々な媒体を活用して、市政に関する情報発信を行った。市政に関心のある市民の割合は目標を下回ったものの、全体の3分の2を超えている。</p> <p>情報開示請求については、目標よりも所要日数を短縮することができ、迅速な情報公開を行うことができた。</p> <p>5月にこれまで防災情報の配信だけだったLINE公式アカウントを、イベント情報の配信やごみカレンダーなど暮らしに役立つ情報を探しやすくリニューアルし、さらにはマイナンバーカードによる本人確認とクレジットカードを使用したオンライン決済を可能にし、住民票の写しの交付請求等LINEからオンライン申請ができるよう行政サービスの充実を図った。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	市民意識調査の「市政への関心」において、年齢層が低くなるほど関心が低い傾向にあり、特に18歳から29歳までの年齢層の関心が低いことが課題となっている。	幅広い年齢層に市政への関心を持っていただくことを目指し、LINE公式アカウントをリニューアルし、検索機能や申請機能を追加した。 また、市報については、より親しみやすく市民に伝わる広報を目指し、令和6年4月から、テーマを深掘した特集記事や小中学生の将来の夢を紹介するコーナーなどを設ける。	
②	オンライン申請はマイナンバーカードでの本人確認を基本としているが、従来通り紙での受付も可能としている。そのため、担当課としては紙とデータの二重の確認が生じるため、デジタルデバイス対策も含め、オンライン申請を推進する上での整備が必要となっている。	マイナンバーカードを活用した行政サービスはまだ過渡期であり、当面は紙とオンラインでの受付に対応せざるを得ないと考える。市民の皆様には来庁せずとも手続できる行政サービスを増やし、また職員にもデータのみで対応ができるオンラインの便利さの機運醸成を図り、将来的にはオンラインのみ受付可能としていきたい。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 多様な市民ニーズの把握に努める					
重要業績評価指標 (KPI)	市民等との懇談会の参加者数 (単年)						担当部課
							総務部秘書広報課
指標の考え方	多様な市民ニーズを把握するため、「まちづくり懇談会」「動く市長室」「市長室開放デー」等、多種多様な市民との意見交換会の参加者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 60人 「動く市長室」6総合支所×20人=120人 「市長室開放デー」及び「まちづくり懇談会」=30人						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-	150	150	150	150		
実績 (人)	60	304	269	-	-	R5達成度	a
達成率	-	202.6%	179.3%	-	-		
細節		2 市民の関心を高める情報発信を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	市政に関心がある市民の割合 (単年)						担当部課
							総務部秘書広報課
指標の考え方	様々な媒体を活用して随時適切な情報を発信し、市政に対する市民の理解と関心を高める。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 70.4% 令和7年度には市民5人のうち4人は市政への関心を持つことを目標とし、毎年度2%ずつ上昇を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	46.1	74.0	76.0	78.0	80.0		
実績 (%)	70.4	71.2	66.7	-	-	R5達成度	b
達成率	152.7%	96.2%	87.7%	-	-		
細節		3 情報公開等による透明性の確保を推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	開示請求に係る平均所要日数 (単年)						担当部課
							総務部総務課
指標の考え方	市政について市民の知る権利を保障し、開示請求時における迅速な情報公開により、透明性の高い市政運営を推進する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 10.6日 庁内において積極的に情報公開の推進が図られることを想定し、毎年度0.5日程度の所要日数の短縮を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (日)	9.6	9.1	8.6	8.1	7.6		
実績 (日)	8.8	7.9	7.8	-	-	R5達成度	a
達成率 ※	109.0%	115.1%	110.2%	-	-		

細節		4 市民サービスの利便性の向上を図る						
重要業績評価指標 (KPI) ★R5～指標変更	LINE公式アカウントの友だち件数 (単年)						担当部課	
							復興企画部DX推進課	
指標の考え方	LINE公式アカウントに登録している市民の利便性を向上させるため、提供サービスの充実を図り、さらなる友だち数の増加を目指す。							
目標値の考え方	<p>○基準値：令和4年10月 12,000人 現在は防災情報の発信のみ行っているが、令和5年度からLINE公式アカウントが提供するサービスの充実を図り、毎年度1,000人ずつの増加を目指す。</p> <p>①日本の人口：12,000万人、②LINE利用者人口：9,200万人 ③日本のLINE利用率：76%、④本市の人口：13.7万人 ⑤本市の想定LINE利用人口 (③×④)：10万人</p>							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (人)	-	-	13,000	14,000	15,000			
実績 (人)	-	-	16,401	-	-	R5達成度	a	
達成率	-	-	126.1%	-	-			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	6 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち			
節	2 持続可能な行財政運営の推進			
数値目標 (KGI)	効率的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 行政運営や財政運営の効率化（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 37.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 24.2%			
設定値 (%)	R3 (基準値)	⇒	R5 (中間値)	⇒ R7 (最終目標値)
	37.8	⇒	39.0	⇒ 62.0

■節の達成状況

主な担当課	総務部財政課		
関係課	総務部行政経営課、総務部管財課、復興企画部政策企画課、復興企画部DX推進課、復興企画部ふるさと納税推進課		
令和5年度の主な取組や成果			
<p>業務の効率化については、アンケート等のフォーム作成や集計を一元管理できる「LoGoフォーム」を使用した所屬にアンケートした結果、業務が効率化したと感じた割合は91.49%と、業務の効率化を進めることができた。</p> <p>公有財産売払いについては、未利用公有財産の売払いを進め、遊休地の有効活用を図るため、売払い公募を行ったが、令和5年度は売払い実績がなく、目標を達成できなかった。</p> <p>公共施設における電気利用料金については、急激な燃料高騰等の影響を受け、入札を実施しても不調となるなど目標額を達成できなかった。</p> <p>ふるさと納税については、寄附受付を行うポータルサイトをこれまでの2倍となる10サイトに増やしたほか、本市を訪れた観光客が現地で直接寄附をすることができる現地決済型ふるさと納税の導入、新聞、雑誌等への広告掲載や、取扱返礼品数の拡大を実施し、目標額を達成できた。</p> <p>財政調整基金の取崩しについては、復旧・復興事業で整備した公共施設の維持管理経費のほか、社会保障経費の増大、物価高騰の影響等により厳しい財政運営となったが、予算編成の基本方針「持続可能な財政基盤の確立」を踏まえた予算の編成及び執行を行い、目標額を達成することができた。</p> <p>石巻圏域への移住定住を促す取組として、首都圏で開催された移住相談イベントで圏域の魅力を発信したほか、圏域の魅力的なスポットを巡る移住体験ツアーを実施したが、人口減少の抑制には至らなかった。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 燃料高騰により電力調達の入札が不調となった。	代替の取組として、全庁を挙げて夏季及び冬季の節電に取り組むとともに、東北電力が実施する夏・冬それぞれの節電キャンペーンに登録し、節電達成特典として料金還元を受けた。		
② 公有財産の売払い実績が1件もなかった。	一般競争入札での売払いに応募者が無かったため、公募に切り替え募集する改善を行った。		
③ 持続可能な財政運営が求められている。	復旧・復興事業で整備した公共施設の維持管理経費のほか、社会保障経費が増大する中、貴重な財源であるふるさと納税も活用しながら、財政調整基金の取崩しを抑制し、財政運営を行った		
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 限られた人材、財源等を最大限活用できる体制を構築する					
重要業績評価指標 (KPI)	業務が効率化した課の割合 (単年)						担当部課
★R5～指標変更							復興企画部DX推進課
指標の考え方	限られた人材、財源等を最大限活用できる体制を構築するため、業務効率化のためのデジタル技術の活用を推進する。						
目標値の考え方	デジタル技術の活用によって業務が効率化された課の割合を増加させることを目指す。なお、目標値である業務が効率化された課の割合については、業務効率化に資するデジタル技術の利用権限を有する課に対しアンケート調査を行うことで把握する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	-	60.0	70.0	80.0		
実績 (%)	-	-	91.49	-	-	R5達成度	a
達成率	-	-	152.4%	-	-		
細節		2 未利用公有財産の有効な利活用を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	公有財産売払い件数 (累積)						担当部課
							総務部管財課
指標の考え方	財源の確保を図るため、未利用の市有地などの公有財産を随時処分し、有効に利活用する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 9件 一般競争入札にて、比較的需要の高いと考えられる未利用地を毎年度1件ずつ売払いを行う。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	1	1	1	1	1		
実績 (件)	9	1	0	-	-	R5達成度	d
達成率	900.0%	100.0%	0.0%	-	-		
細節		3 公共施設の維持管理経費を節減する					
重要業績評価指標 (KPI)	公共施設の入札導入による電気利用料金削減額 (単年)						担当部課
							総務部行政経営課
指標の考え方	維持管理経費の節減を図るため、公共施設への電気料金入札制度導入により電気利用料金の削減を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 98/143施設入札導入 入札後の高圧電気料金実績 507,087,910円 入札未実施の場合の見込額 677,562,680円 削減額 170,474,770円 (削減率74.84%) 1施設あたり 1,739,538円×予定施設数 (令和4年度125施設、R5年度以降143施設) ※予測不能な高圧平均単価、入札単価、燃料調整額等は考慮せず令和3年度実績で固定						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (千円)	-	217,442	248,753	248,753	248,753		
実績 (千円)	170,475	153,153	29,570	-	-	R5達成度	d
達成率	-	70.4%	11.8%	-	-		

細節		4 自主財源の安定的確保を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	ふるさと納税寄附金額 (単年)						担当部課
							復興企画部ふるさと納税推進課
指標の考え方	自主財源の確保を図るため、ふるさと納税の寄附金額を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 532,336,000円 令和3年度の寄附金額 (約5億3千万円) を基準に、令和4年度の寄附状況を踏まえ、令和5年度は10億円、それ以降は2.5億円ずつ増額させることを目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (億円)	-	7.00	10.00	12.50	15.00		
実績 (億円)	5.32	7.99	13.5	-	-	R5達成度	a
達成率	-	114.1%	135.0%	-	-		
細節		5 健全な財政運営を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	財政調整基金取崩額 (単年)						担当部課
							総務部財政課
指標の考え方	計画的な財政運営を図るため、財政調整基金 (地方公共団体が財源に余裕のある年に積み立て、年度によって生じる財源の不均衡を調整する貯金) の取り崩し額を抑える。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 45.8億円 令和7年度の予算規模推計値に震災前の繰入割合の最大値 (1.8%) を乗じた額を目標とする。 財政収支見通し (中間案) 時点における令和7年度予算規模推計値688.9億円×1.8% = 12.4億円						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (億円)	55.1	29.2	22.4	21.1	12.4		
実績 (億円)	32.0	26.0	20.0	-	-	R5達成度	a
達成率 ※	172.1%	112.3%	112.0%	-	-		
細節		6 広域連携体制を強化する					
重要業績評価指標 (KPI)	石巻圏域の人口増減率 (対前年度比) (単年)						担当部課
							復興企画部政策企画課
指標の考え方	令和4年10月7日に石巻圏域定住自立圏共生ビジョンを策定したことから、定住自立圏構想を推進することにより、圏域における人口減少の抑止を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度末 -1.444% 平成30年度から令和3年度まで、本圏域において毎年度平均約1.26%ずつ人口が減少していることから、前年度末に対する人口増減率を-1%に留める。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	-	-1	-1	-1	-1		
実績 (%)	-1.444	-1.410	-1.486	-	-	R5達成度	c
達成率 ※	-	70.9%	67.2%	-	-		

総合計画 評価シート 【第2期復興・創生期間に係る対応方針】

章	1 第2期 復興・創生期間に係る対応方針						
対応方針	1 災害に強いまちづくりに向けて復興事業を確実に推進する						
数値目標 (KGI)	復興事業の進捗率 (累積)					復興企画部復興推進課	
指標の考え方	東日本大震災に係る復興事業について、一部完成に至っていない施設があることから、一日も早い事業の完結を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度末 86.1% 早期完成を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	100	100	-	-	-		
実績 (%)	96.1	100	-	-	-	R5達成度	a
達成率	96.1%	100.0%	-	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部復興推進課		
関係課	建設部下水道建設課		
令和5年度の主な取組や成果			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	令和4年度 完了		
②			
③			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】
A	◎	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎ ○ △ ×
			◎：a ○：b △：c ×：d

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策	1 復興事業を確実に推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	下水道復興事業進捗率 (累積)					担当部課	
						建設部下水道建設課	
指標の考え方	地盤沈下等による排水不良や浸水区域となった地域の内水対策のため、ポンプ施設の早期完成を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年1月末 81.0% 早期完成を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	100	100	-	-	-		
実績 (%)	92.9	100	-	-	-	R5達成度	a
達成率	92.9%	100.0%	-	-	-		

総合計画 評価シート 【第2期復興・創生期間に係る対応方針】

章	1 第2期 復興・創生期間に係る対応方針						
対応方針	2 活力ある地域社会の形成に向けて被災者の心の復興を推進する						
数値目標 (KGI)	「心の復興事業」参加者満足度 (単年)					復興企画部復興推進課	
指標の考え方	被災者の心身のケア、生きがいつくりによる心の復興や、コミュニティ形成の促進等、継続した支援が必要であり、市民が自律的な生活を営めるような支援活動を実施する団体へ補助を行う「心の復興事業」へ参加した市民の満足度を上げる。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 100% 全参加者が満足できる事業内容を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	100	100	100	-	-		
実績 (%)	100	100	100	-	-	R5達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部復興推進課		
関係課			
令和5年度の主な取組や成果			
<p>心の復興事業において、コミュニティ形成の促進等、市民が自律的な生活を営めるような支援活動を実施する団体に補助を行っており、令和6年度は17団体が地域特性への対応や課題解決への取組を行った。</p> <p>復興公営住宅に入居する高齢者などを対象に、農業体験として野菜作りなどを行うことで、地域の子どもから高齢者まで、多世代が交流できる機会を創り出したほか、復興公営住宅団地と近隣自治会住民を対象とした交流会や介護予防のワークショップなどを開催した。</p> <p>前年度より事業実施団体が増加したこと、新型コロナウイルス感染症の5類移行により活動が正常化したこともあり、目標としていた参加者数に達することができ、参加者満足度も100%であった。地域ごとの課題に応じた各団体の取組や活動の結果、被災者の「孤立防止」や「心身の健康維持」、「コミュニティ形成」を図ることができた。</p>			
令和5年度における主な課題		改善した点・方向性	
<p>① 本事業は令和7年度までは継続するが、それ以降は復興財源が終了予定で、その後の事業は未定であることから、各団体の自走化に向けて今後の事業を検討する必要がある。</p>		<p>令和8年度からの事業は未定であることから、今後の各団体の自走化につなげるためにも、段階的な補助率の引き下げのため要綱を改正するとともに、併せて今後の事業について検討していく。</p>	
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】
A	○	<p>◎：課題を改善し効果を上げることができた</p> <p>○：課題の改善に取り組んでいる</p> <p>×：課題が改善されず効果が上がっていない</p>	◎
			<p>◎：a</p> <p>○：b</p> <p>△：c</p> <p>×：d</p>

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策	1 被災者の心の復興を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	「心の復興事業」参加者数 (単年)					担当部課		
						復興企画部復興推進課		
指標の考え方	同事業の参加者数を維持し、生きがいつくりやコミュニティ形成の促進等の支援活動により、被災者の心のケアを推進する。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 9,775人 東日本大震災からの時間の経過や新型コロナウイルスの影響等のほか、地域での自立した活動に移行することが本事業の目的であることから、徐々に事業への参加者は減少するものと予想されるが、参加者を維持する。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (人)	-	8,000	7,000	7,000	7,000			
実績 (人)	9,775	7,491	9,638	-	-	R5達成度		a
達成率	-	93.6%	137.6%	-	-			

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進						
対応方針	1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる						
数値目標 (KGI)	新規雇用創出人数 (福祉関係等の専門人材を含む) (単年)					復興企画部政策企画課	
指標の考え方	人材の確保・育成を推進し、安定した雇用を創出することで、地域経済の活性化を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 77人 新規創業、水産業、農業の新規雇用創出数81人、医療介護職 (奨学金返還支援事業・R4：41人、R5～R7:46人)、保育士 (保育士確保支援事業・20人) の合計。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	126	142	147	147	147		
実績 (人)	96	116	87	-	-	R5達成度	d
達成率	76.1%	81.6%	59.1%	-	-		

実績値内訳 (人)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	担当部課
新規創業者数	17	30	17	-	-	産業部産業推進課
新規水産業就業者数	13	12	12	-	-	産業部水産課
新規就農者数	4	7	7	-	-	産業部農林課
新規奨学金交付者数 (医療介護職)	36	39	36	-	-	保健福祉部保健福祉総務課
新規一時金交付者数 (保育士)	26	28	15	-	-	保健福祉部子ども保育課

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課		
関係課	保健福祉部保健福祉総務課、産業部商工課、産業部水産課、産業部農林課		
評価理由			
産業創造助成金を活用した事業者支援により、新たな取引先や顧客の獲得、商品の品質向上が図られ、事業者の高度化につながった。また、高齢化や後継者不足等の課題を抱える水産業及び農業分野における担い手の育成に努め、新たな就業者の確保につなげた。さらには、医療・福祉・介護等、専門職の人材確保に向け、「奨学金返還支援事業」の制度内容を見直すことにより、長期的な人材確保及び定住促進に努めた。			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】 (括弧内はKGIが2つの場合)
D	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	×
			◎：a (どちらもa) ○：b (どちらも「aまたはb」) △：c (どちらかが「cまたはd」) ×：d (どちらもd)

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策	1 地域産業の競争力を強化する							
重要業績評価指標 (KPI)	産業創造助成金交付による事業支援件数 (単年)						担当部課	
							産業部商工課	
指標の考え方	地域間競争力を向上させるため、事業者の新たな事業展開を支援・促進し、新規販路開拓や新商品開発等の事業活動を目的とした助成金を交付する。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 7件 人材育成、研究開発、情報提供、知的財産等取得事業の補助メニューに対し、2件ずつの申請を想定し設定した。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P34	
目標 (件)	-	8	8	8	8			
実績 (件)	7	5	13	-	-	R5達成度	a	
達成率	-	62.5%	162.5%	-	-			
施策	2 専門人材を確保・育成する							
重要業績評価指標 (KPI)	新規水産業就業者数 (単年)						担当部課	
							産業部水産課	
指標の考え方	水産業就業者の減少が続いているため、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規水産業就業者を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 13人 平成27年度の事業開始から平均値が7人であるため、毎年度10人を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P38	
目標 (人)	10	10	10	10	10			
実績 (人)	13	12	12	-	-	R5達成度	a	
達成率	130.0%	120.0%	120.0%	-	-			
施策	2 専門人材を確保・育成する							
重要業績評価指標 (KPI)	新規就農者数 (単年)						担当部課	
							産業部農林課	
指標の考え方	農業従業者の高齢化や担い手不足が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規就農者を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 4人 近年の実績から毎年度2人程度の確保を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P43	
目標 (人)	2	2	2	2	2			
実績 (人)	4	7	7	-	-	R5達成度	a	
達成率	200.0%	350.0%	350.0%	-	-			

施策	3 働きやすい魅力的な環境を整備する						
重要業績評価指標 (KPI)	奨学金返還支援事業助成人数 (単年)					担当部課	
基本計画						保健福祉部保健福祉総務課	
指標の考え方	市内に居住し、市内の事業所に勤務する医療、福祉、介護等の専門職の方に対し、奨学金返還金を助成することにより、医療、福祉、介護人材を確保する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 36人 これまでの実績に加え、年々申請者が増加傾向にあることから、新規申請者の増加を見込んだ目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P30
目標 (人)	-	41	46	46	46		
実績 (人)	36	39	36	-	-	R5達成度	C
達成率	-	95.1%	78.2%	-	-		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進						
対応方針	2 絆を大切にし人が集まるまちをつくる						
数値目標 (KGI)	社会移動増減数 (単年)					復興企画部政策企画課	
指標の考え方	若者の地元定着や移住施策を推進し、減少幅を少なくすることで人口減少を抑制する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年 -712人 人口ビジョンで示している推計値を活用し、転出超過数が年々減少するよう傾斜をかけて算出。令和元年より397人の転出超過を抑制することを目標とすることから、転入者が増え（転出者が減り）令和7年は315人の転出超過となる。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	-380	-350	-330	-317	-315		
実績 (人)	-784	-440	-556	-	-	R5達成度	d
達成率 ※	48.4%	79.5%	59.3%	-	-		
数値目標 (KGI)	地元就職割合 (単年)					産業部商工課	
指標の考え方	学生の地元就職割合を向上させることで人口減少を抑制する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年4月末 51.5% 施策により基準値よりも増加するよう努める。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0		
実績 (%)	54.2	54.5	45.7	-	-	R5達成度	b
達成率	98.5%	99.0%	83.0%	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課		
関係課	総務部震災伝承推進室、復興企画部SDGs移住定住推進課、復興企画部ふるさと納税推進課、産業部産業推進課、産業部商工課、教育委員会生涯学習課		
評価理由			
<p>首都圏で開催された移住相談イベントへの参加やSNSを通じて積極的に本市の魅力を発信し、移住人口の増加を図ったほか、「定住促進住宅取得等補助制度」を子育て世帯に焦点を当てた支援内容に見直しを行うとともに、新たな「奨学金支援制度」の創設等により、若者の定住を促進するための支援に継続して取り組んでいく。</p> <p>また、地元就職割合を向上させるため、高校2・3年生を対象とした合同企業説明会、桜坂高校の就職希望の3年生を対象とした企業見学ツアー等を開催した。</p>			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】 (括弧内はKGIが2つの場合)
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△
			◎：a (どちらもa) ○：b (どちらも「aまたはb」) △：c (どちらかが「cまたはd」) ×：d (どちらもd)

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策	1 地方移住・移転の推進を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	移住対策事業を活用した本市への移住人数 (単年)					担当部課 復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	移住対策事業 (移住相談、空き家バンク、石巻市定住促進住宅取得等補助金、お試し移住体験) を推進することで、移住人口の増加を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 76人 令和3年度から移住希望者に対する住宅取得等の補助金を創設したことから、補助金を活用した移住者130人、相談窓口を利用した移住者20人を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P4
目標 (人)	-	150	150	150	150		
実績 (人)	76	152	165	-	-	R5達成度	a
達成率	-	101.3%	110.0%	-	-		
施策	1 地方移住・移転の推進を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	立地企業件数 (単年)					担当部課 産業部産業推進課	
指標の考え方	企業誘致は新たな雇用創出や定住人口の増加につながるほか、市税収入等の増加にも効果があることから、企業立地意向調査や企業訪問等に取り組み、市内に新たに立地する企業数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 5件 過去5年間の企業立地実績をベースに、今後の用地分譲件数を考慮して設定した。 ※過去5年の平均立地件数/年+今後平均分譲数/年×(100-指定企業者率34%)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P48
目標 (件)	10	10	10	10	10		
実績 (件)	10	9	8	-	-	R5達成度	b
達成率	100.0%	90.0%	80.0%	-	-		
施策	2 若者の地元定着の推進を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	合同企業説明会への求職者の参加人数 (単年)					担当部課 産業部商工課	
指標の考え方	産業人材を確保及び育成するため、関係機関との連携により合同企業説明会の参加人数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 一般向け 16人、高校生向け 413人 (2回) 令和4年度からは高校生の合同企業説明会参加者を含めて設定した。 一般求職者向け 100人 (年2回×1回あたり50人) 高校生向け 250人 (年1回)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P50
目標 (人)	200	350	350	350	350		
実績 (人)	429	77	526	-	-	R5達成度	a
達成率	214.5%	22.0%	150.2%	-	-		

施策		2 若者の地元定着の推進を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	ふるさと子どもカレッジ参加者満足度 (単年)	担当部課					
		教育委員会生涯学習課					
指標の考え方	子どもたちが郷土の自然や文化を体験するため、地域や企業の協力のもと、年間7回を通して各地区の特色を生かした講座を開催し、参加者の満足度が高い内容を実施することで参加者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 83% 全参加者が満足できる事業内容を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P60
目標 (%)	100	100	100	100	100		
実績 (%)	100	100	100	-	-	R5達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	-		
施策		3 関係人口の創出・拡大、つながりの継続を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	震災遺構来訪者数 (単年)	担当部課					
		総務部震災伝承推進室					
指標の考え方	震災遺構来訪者数を増やし、東日本大震災の経験や教訓を多くの人々に伝え続ける。						
目標値の考え方	○大川小：令和3年7月開場 令和3年度 49,245人 門脇小：令和4年4月開場 年間の来訪者を門脇小58,000人 (月4,800人)、大川小80,000人 (月6,600人) を目標とし、企画展の開催や常設展示の更新等により維持を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P12
目標 (人)	45,000	138,000	138,000	138,000	138,000		
実績 (人)	49,245	116,520	129,798	-	-	R5達成度	b
達成率	109.4%	84.4%	94.0%	-	-		
施策		4 地方への資金の流れの創出・拡大を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	ふるさと納税寄附件数 (単年)	担当部課					
		復興企画部ふるさと納税推進課					
指標の考え方	ふるさと納税を通じて得た個人と本市とのつながりを活かし、各種情報発信などを通じてつながりを構築する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 42,978件 532,335千円 1件当たり約12,400円 寄附額をR4:7億円、R5:10億円、R6:12.5億円、R7:15億円に設定し、令和3年度の寄附単価を基に算出した。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (件)	30,000	65,000	81,000	101,000	122,000		
実績 (件)	42,978	69,930	104,891	-	-	R5達成度	a
達成率	143.2%	107.5%	129.4%	-	-		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進						
対応方針	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる						
数値目標 (KGI)	合計特殊出生率 (単年)					復興企画部政策企画課	
指標の考え方	出生数の減少が続く中、合計特殊出生率を確認することで、自分が暮らすまちで安心して子どもを産み育てる環境づくりができていないかを測る。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年 1.25 総合計画と一体的に策定した人口ビジョンで示している推計値を目標値とする。 ※令和5年実績値：令和4年合計特殊出生率						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (-)	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52		
実績 (-)	1.23	1.20	1.15	-	-	R5達成度	c
達成率	80.9%	78.9%	75.6%	-	-		
数値目標 (KGI)	女性人口 (15～49歳) (単年)					復興企画部政策企画課	
指標の考え方	結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなう環境を整備することで、女性の流出を抑え、女性人口を維持する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年3月 25,033人 人口ビジョンで示している推計値を活用。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	21,696	21,696	21,696	21,696	21,696		
実績 (人)	23,542	22,970	22,379	-	-	R5達成度	a
達成率	108.5%	105.8%	103.1%	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課		
関係課	復興企画部地域振興課、保健福祉部健康推進課、保健福祉部子育て支援課、保健福祉部子ども保育課、教育委員会学校教育課		
評価理由			
待機児童数の発生を防止、安心して子育てできる環境を整備していくために、令和6年度より保育士確保事業を実施するほか、多様化する保育ニーズに応えるため、再編計画に基づく保育所整備を推進している。 また、子育て世代包括支援センターにおいて、来所する妊産婦とともに、出産前後の行動計画や利用できるサービスをまとめた産前産後プランを作成するなど、妊娠、出産から子育てまでの切れ目のない支援を行った。			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】 (括弧内はKGIが2つの場合)
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：a (どちらもa) ○：b (どちらも「aまたはb」) △：c (どちらかが「cまたはd」) ×：d (どちらもd)

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策		1 結婚・妊娠・出産への切れ目のない支援を推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	新生児訪問事業 (乳児全戸訪問事業) 実施率 (単年)						担当部課	
							保健福祉部健康推進課	
指標の考え方	出産から子育て期の継続的な支援を行うため、新生児の訪問事業 (保健師による生後4ヶ月未満の赤ちゃんがいる世帯への訪問事業) の実施率を上げる。							
目標値の考え方	○基準値: 令和元年度 98.3% 対象期間中に里帰り出産等で訪問できない世帯があるが、それ以外の世帯へ訪問を実施する。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P22	
目標 (%)	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5			
実績 (%)	94.4	98.8	97.0	-	-	R5達成度	b	
達成率	95.8%	100.3%	98.4%	-	-			
施策		2 子育て支援の充実を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数 (単年)						担当部課	
							保健福祉部子ども保育課保健福祉部子育て支援課	
指標の考え方	保育施設等の待機児童数を減少させ、子育て環境を充実させる。							
目標値の考え方	○基準値: 令和2年度 (4月時点) 保育施設12人、児童クラブ170人 保育施設や放課後児童クラブへ申請したものの、定員超過等のため入所・入級できない児童が発生しないよう毎年度0人を目指す。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P22	
目標 (人)	0	0	0	0	0			
実績 (人)	8	3	3	-	-	R5達成度	b	
達成率	-	-	-	-	-			
施策		3 学校教育の充実を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 (単年)						担当部課	
							教育委員会学校教育課	
指標の考え方	児童生徒の主体的に生きる力を育成するため、児童生徒の意欲を高めることが重要であることから、学校が楽しいと感じている児童生徒の割合を高める。							
目標値の考え方	○基準値: 令和2年度 83.6% 高い数値で推移しているが、引き続き高水準を維持する。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P54	
目標 (%)	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0			
実績 (%)	91.7	91.0	92.2	-	-	R5達成度	a	
達成率	114.6%	110.9%	109.7%	-	-			

施策		3 学校教育の充実を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	スクールカウンセラーを活用した各校の教員研修会実施率 (単年)						担当部課	
							教育委員会学校教育課	
指標の考え方	児童生徒、保護者及び教職員の心理的安定を図るため、全校に配置しているスクールカウンセラー (教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家) による、教員への研修会を全校で実施する。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 スクールカウンセラー配置率100% スクールカウンセラーによる教員への研修会を毎年度全校で実施する。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P58	
目標 (%)	-	100	100	100	100			
実績 (%)	-	49.0	100	-	-	R5達成度	a	
達成率	-	49.0%	100.0%	-	-			
施策		4 仕事と子育ての両立を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	「育児や家事の役割」について「夫婦同様」との回答割合 (単年)						担当部課	
							復興企画部地域振興課	
指標の考え方	セミナーや研修等を開催し、男女共同参画への理解を深めることで、社会のあらゆる分野における意識啓発を図る。							
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 60.1% 男女共同参画基本計画において、計画最終年度となる令和7年度目標値を70%としている。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P8	
目標 (%)	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0			
実績 (%)	49.9	66.1	72.4	-	-	R5達成度	a	
達成率	71.2%	94.4%	103.4%	-	-			

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進						
対応方針	4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる						
数値目標 (KGI)	住み続けたいと思う市民の割合 (単年)					復興企画部政策企画課	
指標の考え方	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、まちの機能の充実や地域資源の活用による、安心で魅力的なまちづくりが行われているかを測る。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年11～12月 81% (総合計画策定に係るアンケート調査) 令和元年度から令和3年度は1%ずつ、令和3年度から令和7年度にかけては毎年度0.5%ずつ上昇を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	83.0	83.5	84.0	84.5	85.0		
実績 (%)	81.3	83.5	79.6	-	-	R5達成度	b
達成率	97.9%	100.0%	94.7%	-	-		
数値目標 (KGI)	防災訓練参加率 (単年)					総務部危機対策課	
指標の考え方	災害時に迅速に対応するためには、市民一人ひとりの防災意識や災害への備えが重要であることから、防災訓練の参加率を上げることで、地域防災力の向上を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 17.75% 直近の一番高い参加率が平成30年度の20%であることから、令和7年度には人口の20% (令和7年人口推計値からの算出で25,900人) の参加率を目標値とし、令和4年度から毎年度0.56% (令和4年9月末時点人口算出で767人) の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P6
目標 (%)	15.50	18.31	18.87	19.43	20.00		
実績 (%)	17.75	15.45	18.14	-	-	R5達成度	b
達成率	114.5%	84.3%	96.1%	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課		
関係課	総務部危機対策課、復興企画部地域振興課、市民生活部地域協働課、保健福祉部保健福祉総務課、保健福祉部介護福祉課、産業部観光課、教育委員会生涯学習課		
評価理由			
公共交通利用促進のため、市内の路線バスに関する情報をオープンデータ化し、様々な経路検索コンテンツで常に新しい情報が検索可能となったことにより利用者の利便性向上が図られたほか、若い視点を取り入れるためのワークショップを行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた取り組みを行った。 また、安全安心に暮らせるまちづくりに向け、総合防災訓練において市内全小中学校を登校日とし、地域と連携した訓練を実施したほか、地域互助活動推進事業において助成期間の延長等の見直しを行い、地域住民の主体的な互助活動を促進した。			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】 (括弧内はKGIが2つの場合)
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○ ◎：a (どちらもa) ○：b (どちらも「aまたはb」) △：c (どちらかが「cまたはd」) ×：d (どちらもd)

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策		1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	公共交通利用者数 (単年)						担当部課
							復興企画部地域振興課
指標の考え方	公共交通利用者は減少傾向にあることから、利用者数を測ることにより、市民にとって利用しやすい交通体系が構築されているか確認するほか、利用者の増加により持続可能な公共交通ネットワークを構築する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 361,398人 令和元年度の実績を基準とし、毎年度1%ずつ増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	368,662	372,349	376,072	379,833	383,631		
実績 (人)	297,157	314,862	321,528	-	-	R5達成度	b
達成率	80.6%	84.5%	85.4%	-	-		
施策		1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る					
重要業績評価指標 (KPI)	住民自治組織交付金を活用して活動した団体数 (単年)						担当部課
							市民生活部地域協働課
指標の考え方	住民主体の地域づくりを推進するため、市内16地区すべての住民自治組織の設立を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 4件 (山下、河南、桃生、北上) 市内全16地区での実施を目指す。 (石巻、山下、山の手、住吉、釜・大街道、湊、渡波、稲井、荻浜、蛇田、河南、雄勝、河北、桃生、北上、牡鹿)						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P2
目標 (件)	-	6	7	11	16		
実績 (件)	3	4	7	-	-	R5達成度	a
達成率	-	66.6%	100.0%	-	-		
施策		2 資源を活かした地域の魅力づくりを推進する					
重要業績評価指標 (KPI)	観光客入込数 (単年)						担当部課
							産業部観光政策課
指標の考え方	観光業は即効性が高く、地域産業と関連して経済的効果が大きいことから、各種取組を推進し、観光地点及び行催事・イベント等に訪れた人数を増やし、地域経済の活性化を図る。						
目標値の考え方	○基準値：平成30年1月～12月 3,300,000人 今後、新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで響くか見通しが困難であるが、令和7年度まで基準値の1割増加を目指す。 ※令和5年度実績値：宮城県が公表する速報値						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000		
実績 (人)	2,773,778	4,248,570	4,931,248	-	-	R5達成度	a
達成率	77.0%	118.0%	136.9%	-	-		

施策	2 資源を活かした地域の魅力づくりを推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	複合文化施設利用者数 (単年)					担当部課 教育委員会生涯学習課	
指標の考え方	企画展・特別展を開催し、市民に文化・芸術に触れる場を提供することで、石巻市の歴史・文化に対する理解を深めるとともに、心の豊かさの醸成を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 104,478人 令和3年度の実績を基準とし、毎年度10,000人の増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	100,000	110,000	120,000	130,000	140,000		
実績 (人)	104,478	133,348	152,474	-	-	R5達成度	a
達成率	104.4%	121.2%	127.0%	-	-		
施策	3 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	地域互助活動実施団体件数 (単年)					担当部課 保健福祉部保健福祉総務課	
指標の考え方	高齢者・障害者・子ども・生活困窮者を対象とした日常生活上の助け合い活動 (送迎支援、買物支援、見守り・声がけ支援等) を行う団体数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 11件 令和5年度以降は同様の事業を整理統合し、申請実績のない自治会等に対して「互助」の意識醸成を図ることを目的として事業の見直しをすることから、これまでの実績に加え、新型コロナウイルス感染症の影響下においても地域活動に取り組んでいる団体の実績を勘案し目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P30
目標 (件)	11	15	55	58	61		
実績 (件)	13	14	41	-	-	R5達成度	c
達成率	118.1%	93.3%	74.5%	-	-		
施策	3 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	「生きがい」を持ちながら暮らしている高齢者の割合 (単年)					担当部課 保健福祉部介護福祉課	
指標の考え方	高齢者の心身の健康維持や向上を図るためには、日々の生活の中で「生きがい」を持つことが重要であることから、「生きがい」を持つ高齢者の割合を高める。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 67.7% 策定時において、第3期石巻市地域福祉計画 (平成29年度～令和3年度) の目標値を達成していなかったため、同目標値とした。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P24
目標 (%)	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
実績 (%)	70.8	70.1	72.6	-	-	R5達成度	b
達成率	88.5%	87.6%	90.7%	-	-		

施策	4 災害に強いまちづくりを推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	防災指導員数 (累積)					担当部課	
						総務部危機対策課	
指標の考え方	地域で中心的な役割を担い、防災活動支援や防災意識向上の啓発活動などを行う防災指導員数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 247人 市内の自主防災組織数が227組織あることから、1組織2名の配置を目指し育成し、454名の目標とするが、資格取得後における自然減、社会減を10%と見込み、年40名の増加を目指し、令和7年度には407名の防災指導員を確保する。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (人)	297	287	327	367	407		
実績 (人)	247	314	327	-	-	R5達成度	a
達成率	83.1%	109.4%	100.0%	-	-		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	2 未来都市の実現						
対応方針	1 コミュニティを核とした持続可能な地域社会をつくる						
数値目標 (KGI)	市民のSDGs認知度 (単年)					復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	SDGsの認知度を高めることで、持続可能な地域づくりに取り組む市民を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 59.4% 令和3年度は主婦層の認知度が低かったため、令和4年度はこれまでの取組の他にスーパーへのPOPの掲示や市報での身近なSDGsの取組紹介等、主婦層をターゲットとした取組を行ってきたことから、令和4年度の認知度は70%を見込み、令和5年度以降は5%ずつの増加を目指す。						
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標 (%)	40.0	50.0	75.0	80.0	85.0		
実績 (%)	59.4	72.4	81.7	-	-	R5達成度	a
達成率	148.5%	144.8%	108.9%	-	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部SDGs移住定住推進課						
関係課							
令和5年度の主な取組や成果							
<p>SDGsの認知度に関しては、認知度向上に向けた取組として、毎月市報に普及啓発や実際の取組紹介の掲載、またホームページの充実や出前講座などを継続した結果、令和5年度で81.7%に達し、市民のSDGsに対する認知度が向上した。また、カーシェアリングの買い物等延べ利用者数については目標を上回っており、着実に高齢者や交通弱者の移動手段として買い物や通院等の新たな外出する手段として活用されており、地域のコミュニティの活性化に寄与することができた。</p> <p>一方、SDGsモデル事業においては、令和4年度で事業は完了したものの、令和4年度末にハイブリットリユース事業で生産した電動カート1台をあゆみ野地区に導入し、令和5年7月末から運行を開始したが、夏季及び冬季の利用者数がほとんどいなかったこと、バッテリーのトラブルで航続可能距離が短くなったことから利用頻度が減少し、目標を大幅に下回る結果となった。それに伴いグリーンスローモビリティの走行距離も実績値が目標値を大きく下回り、次年度において改善すべきものとして課題を残す結果となった。</p>							
令和5年度における主な課題				改善した点・方向性			
① 電動カートの利用者数が少ない				特にあゆみ野地区の電動カートについては利用者数増に向けて、今後カーシェアリング協会を通じて地区のカーシェア会に利用促進の周知を図っていく。			
内部評価	定性評価			定量評価【KGI】			
B	×	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		◎	◎：a ○：b △：c ×：d		

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策		1 地域に雇用を生み稼ぐ仕組みを構築する						
重要業績評価指標 (KPI)	ハイブリッドリユース事業によって生産されたグリーンスローモビリティの延べ利用者数 (単年)						担当部課	
							復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	ハイブリッドリユースにより生産されたグリーンスローモビリティを活用することで、地域経済の活性化を図る。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 152人 (A地区のみ) ・配置するカートは2台。(A地区1台、B地区1台 (R5～配置)) ・運行回数は週2回、年間 (52週) 100回と想定 【A地区】R4～R7の目標値について、R3実績からの平均乗車人数3人×運行回数100回=300人 【B地区】R5目標値について、平均乗車人数4人×運行回数80回 (運用初年度のため) =320人、R6～R7の目標値については、平均乗車人数4人×運行回数100回=400人 ※参考：カーシェア会員数 A地区 47名 B地区73名							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (人)	-	300	620	700	700			
実績 (人)	152	277	83	-	-	R5達成度	d	
達成率	-	92.3%	13.3%	-	-			
施策		2 地域コミュニティによる支え合いを推進する						
重要業績評価指標 (KPI)	カーシェアリングの買い物等延べ利用者数 (単年)						担当部課	
							復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	カーシェアリングの利用者を向上させ、地域コミュニティの活性化を図り、地域に暮らす人が支え合いながら生活することのできる地域社会をめざす。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 11,160人 カーシェアリング協会において実績にあわせて設定した。							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (人)	2,200	2,400	11,500	11,750	12,000			
実績 (人)	11,160	12,756	12,814	-	-	R5達成度	a	
達成率	507.2%	531.5%	111.4%	-	-			
施策		3 低炭素社会を実現する						
重要業績評価指標 (KPI)	グリーンスローモビリティの走行距離 (単年)						担当部課	
							復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	環境への負荷が少ないグリーンスローモビリティを活用することで低炭素社会の実現を目指す。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 98km (A地区のみ) ・配置するカートは2台。(A地区1台、B地区1台 (R5～配置)) ・運行回数は週2回、年間 (52週) 100回と想定 【A地区】R4～R7の目標値について、R3実績からの平均走行距離3km/回×運行回数100回=300km 【B地区】R5目標値について、平均走行距離5km×運行回数80回 (運用初年度のため) =400km、R6～R7の目標値については、平均走行距離5km×運行回数100回=500km ※参考：給電ステーションからイオンモール石巻までの距離 A地区 1km B地区 1.7km							
設定値 (単位)	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標 (km)	-	300	700	800	800			
実績 (km)	98	279	244	-	-	R5達成度	d	
達成率	-	93.0%	34.8%	-	-			